SecureFrontia Lite

設置／取扱説明書

第１版

2015年3月

NEC
NECプラットフォームズ株式会社

 A50-036659-001

必ずお読みください

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品が本来の性能が発揮できなかったり、機能停止をまねく内容、および利用できない機能などの内容を示しています。

電波障害自主規制について

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電波法について

■ 本装置は、総務省指定第 AC-08092 号の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備を取得したユニットを内蔵しています。本装置を許可無く改造することは電波法令に違反する場合がありますのでご注意ください。

■ 植込み型医療機器について
植え込み型医療機器（心臓ペースメーカ等）の装着者が使用する場合は、植込み型医療機器の装着部位から 12cm 以上離して使用してください。ワイヤレスカードシステムでは、植込み型医療機器に対して影響が起こりうるとの調査結果が報告されています。これは電波利用機器としての一般的な特性であり、本製品特有の特性ではありません。詳細は総務省のホームページをご確認ください。
（http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/medical/chis/）

ご使用にあたって

□本製品は外国為替令別表の 8 項（2）に該当するソフトウェアを搭載しています。
輸出にあたっては経済産業省の輸出許可が必要になります。

□本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

□本製品は事故発生を防止する物ではありません。従いまして、万一事故が発生し、損害が生じましても当社では一切責任は負いかねますのでご了承ください。

□当社は、本製品に関する全ての著作権を保有しております。

□当社は、本製品を使用して得た結果または成果に関し、一切責任を負いません。

□本製品に関する文書（説明書など）の一部または全部を当社の文書による許可なくして、バックアップ以外の目的で複製することはメディアを問わず禁止します。

□本書に記載されている図や文字などは印刷の関係上、実物と異なることがあります。

□本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

□本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求め先へご連絡ください。

□本製品の故障、誤動作、天災、不具合、あるいは停電等の外部要因によって生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

□廃棄方法について
本製品を廃棄するときは、各地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、最寄りの自治体にお問い合わせください。

・MIFARE（マイフェア）は NXP セミコンダクターズの登録商標です。
・FeliCa（フェリカ）はソニー株式会社の登録商標です。
・その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、©、®マークは明記しておりません。

情報サイト／問い合わせ先

□SecureFrontia Lite 公式情報サイトは以下の URL です。
http://www.necplatforms.co.jp/solution/secure/lite.html

機能追加や変更などに関する更新情報につきましては、上記 URL を定期的に閲覧して頂くことを推奨します。

□問い合わせメールアドレスは以下の通りです。
secure@necpf.jp.nec.com

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に保管してください。



人が死亡または負傷を負う可能性が想定される内容です

1. 機器本体から煙が出ていたり、へんな臭いがする場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
2. 機器本体から異常音がでていたり、機器本体やコード類が異常に高温になっている場合にはすぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
3. 上記以外でも、機器をご使用中に異常と思われる状態になった場合には、すぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
4. 電源ユニットはこの装置の専用品です。他の製品、用途では絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
5. 電源プラグを電源容量 1.5Ａ以上の専用コンセントへ直接接続してください。
6. タコ足配線しないでください。火災の原因となります。
7. 電源の延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。
8. 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、ゆるみがないこと、電源プラグの金具および金具の周囲にほこりが付着していないことを確認してください。ほこりが付着している場合、火災の原因になることがあります。また、電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
9. 各装置間の配線は床に配置せず、水や洗剤などに濡れない場所に固定してください。水に濡れたりした場合、火災の原因となることがあります。
10. 指定以外の電源ケーブルをご使用にならないでください。火災、感電、故障の原因となります。
11. 機器に表示された電源電圧以外の電圧でご使用にならないでください。火災、感電、故障の原因となります。
12. 電源ケーブル、通信ケーブル、周辺機器接続ケーブルなどが傷ついたり、変形などの異常が発生した場合は、販売店又は最寄りの相談窓口までご連絡ください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
13. コードの上に重いものをのせる無理に曲げる、無理に引っ張る、ねじるなどはしないでください。コードを断線させ火災、感電、故障の原因となります。
14. 内部電線を露出させたままご使用にならないでください。火災、感電、故障の原因となります。
15. 機器本体をふろ場や加湿器のそばなど湿気の多い所に置いたり、水がかかる恐れのある場所でご使用にならないでください。火災、感電、故障の原因となります。
16. 機器本体内に水や金属、紙などの燃えやすい物が入った場合に、そのままご使用になりますと火災、感電、故障の原因となり危険です。万一異物が入った場合には、すぐに電源スイッチを切り、電源コードを抜いてご使用を中止し、販売店もしくは最寄りのご相談窓口までご連絡ください。
17. お客様が用意された機器を本機に接続して使用される場合は、あらかじめ〈販売店または保守会社に〉確認してください。確認していない場合は、絶対に接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
18. 保守者以外は、本機の扉の開閉を行わないでください。
19. 停電用バッテリを分解・改造したり、貼ってあるビニールをはがさないでください。火災・感電・故障の原因となります。
20. 装置の端子、コネクタなどに水や液体をかけたり、水滴のついたまま使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
21. 停電用バッテリが漏液して液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。そのままにしておくと皮膚に障害を起す原因となります。
22. 停電用バッテリ内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。失明などの原因となります。
23. 停電用バッテリが漏液したり異臭がしたときは、直ちに火気から遠ざけてください。漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。
24. アラームが発生した場合には、扉を開けずに〈販売店または保守会社に〉ご連絡ください。
25. 本機内部のヒューズ切れなどにより使用不能となった場合は、〈販売店または保守会社に〉ご連絡ください。お客様によるヒューズの交換は絶対に行わないでください。火災・感電の原因となることがあります。
26. お客様ご自身で機器本体を分解し機器内部の清掃、修理、点検、改造を行うことはしないでください。火災、感電、故障の原因となります。改造は電波法違反にもなります。
27. 機器本体の上に物をのせないでください。中に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。
28. 本体や機器を不安定な場所には設置しないでください。落下して故障やけがの原因となります。

29. 機器本体を倒したり逆さまにしたままでご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。
30. 本機の近くに花瓶や飲み物などを置かないでください。内部に液が入ると故障、感電、火災の原因となります。
31. 機器本体に水をかけたり、通風孔などの開口部から金属類や紙などの燃えやすいものを侵入させないでください。また、機器本体を倒したり、落下させたり、物をぶつけるなどの衝ぬれた手で電源コードや電源プラグにさわったり、機器を操作しないでください。感電の原因となります。
32. 周辺装置を架空配線する場合は、避雷器など十分な対策を行ってください。火災、感電、故障の原因となります。
33. 停電用バッテリ接続コネクタを金属でショートさせないでください。火災、感電、故障の原因となります。
34. 停電用バッテリは火中に投入しないでください。発熱、発火、破裂の原因となります。
35. 停電用バッテリを他の充電装置で充電しないでください。発熱、発火、破裂の原因となります。
36. SIU 本体内には、リチウム電池が搭載されていますが、交換する必要はありません。リチウム電池を間違って交換すると爆発する危険がありますのでご注意ください。
37. 引火性のガスや発火性の物質がある場所では、絶対に使用しないでください。火災、爆発の原因となります。
38. 近くで雷が発生した場合は、本機器の電源を切り、電源ケーブルと通信ケーブルを抜いて、本機器のご使用をお控えください。雷の影響で本機器が破壊される恐れがあります。
39. 廃棄に際して、本商品を焼却したり、火中に投じないでください。激しく燃えることがあり、危険です。
40. 停電した時に電気錠が施錠するか、解錠するかは、使用する電気錠の種類によりますのであらかじめご確認ください。

安全上のご注意



人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

1. 設置は工事マニュアルに指定された方法及び部材を用いて行ってください。
2. 機器装置には設置・取扱説明書〈本書〉に従って指定のネジをご使用ください。火災・感電・事故の原因となることがあります。
3. 機器本体を規定以外の設置方法(仰向け、横倒し、逆さまなど)でご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
4. 機器本体を収納箱や本棚など風通しの悪い場所に置いてご使用にならないでください。機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
5. 機器本体にカバーなどを掛けてご使用にならないでください。通風孔をふさぎ、機器内部に熱がこもり火災、故障の原因となります。
6. 機器本体を屋外や直射日光の当たるところ、また冷暖房機の吹き出し口の前などに置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。
7. 機器本体をゴミやほこりの多い場所、また金属粉や有毒ガスの発生する場所に置いてご使用にならないでください。火災、故障の原因となります。
8. 本機に他の機器を近接設置する場合、当該機器の設置・運用基準を必ず守ってください。本機が誤動作する原因になることがあります。
9. ラジオ，テレビ，携帯電話など電波を利用した機器や強い磁界が発生する機器の近くに、設置したり、使用しないでください。ラジオやテレビなどに雑音が入ったり、本機が正常に動作しなくなる原因となることがあります。
10. 磁気カードなどを本電話機〈本製品〉に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。フロッピーディスク、キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気記録を利用しているものを本電話機〈本装置〉に近づけないでください。
11. 長時間機器をご使用にならない場合には電源を切り、安全のため電源コードを抜いてください。
12. 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
13. 機器本体に高温の発熱体や熱器具を近づけないでください。溶けて発火したり、変色する場合があります。
14. 電源コードを高温の発熱体や熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となる場合があります。
15. 機器本体は振動や衝撃等によって落下しないようにしっかりと壁に固定してください。機器が落下して、けがをする場合があります。
16. 機器本体をぐらついた台の上や傾いた所、また振動や衝撃の受けやすい場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをする場合があります。
17. 機器本体を移動させる場合には、電源コードを抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードを傷つけますと、火災、感電の原因となる場合があります。安全上のご注意
18. 薬品や化学物質などを扱う場所では、使用しないでください。故障、火災の原因となります。
19. 温泉地など硫化水素の発生する場所や海岸などの塩分の多い所でお使いになると、装置の寿命が短くなることがあります。
20. 濡れた手でケーブルの接続、取り外しはしないでください。感電の原因となります。
21. カバー、ユニット等を閉じる際は手や指を挟まないように注意してください。けがの原因になります。
22. 周辺機器の接続、取り外しなどを行う場合は、本体および周辺機器全ての電源をＯＦＦにし、電源プラグを外してから行ってください。故障・感電・火災の原因となることがあります。
23. 装置に身体（頭，足，腕等）をぶつけないように注意してください。けがの原因になります。
24. 本機にもたれかかったりしないでください。転倒し、けがの原因になります。
25. お客様ご自身で本電話機〈本装置〉に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
26. 停電用バッテリは極性表示〈プラスとマイナスの向き〉を確認してから機器内に挿入してください。間違えますとバッテリの破裂、液洩れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
27. 停電用バッテリを着脱するときは、端子を持って抜き差しを行ってください。コードを引っ張ると被覆が破け、火災・感電・やけどの原因となることがあります。
28. 停電用バッテリの液が漏れた場合は、液をよく拭き取ってから、新しいバッテリを入れてください。火災・感電・故障の原因になります。
29. 本装置〈周辺装置〉では停電用バックアップ電源として、充電可能なニッケル水素蓄電池を使用しています。周辺装置の正常動作や、停電時のバックアップを保証するために、必ず定期交換を行ってください。



本商品が本来の性能が発揮できなかったり、機能停止をまねく内容、および利用できない機能などの内容です。

1. 設置場所は、本書に記載されている点を考慮してください。故障、誤動作、変色、変形の原因となります。
2. 機器本体に接続する周辺機器（センサなど）には耐用年数が定められているものがあります。耐用年数経過後の周辺機器は接続しないでください。誤動作の原因となります。
3. お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
4. 清掃の際は、柔らかく乾いたきれいな布で汚れをふき取ってください。ひどい汚れのため、やむを得ず水拭きするときは柔らかい布を水でぬらして固く絞ってから汚れを拭き取ってください。
5. 機器本体を揮発性の有機溶剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）や薬品、洗剤、化学雑巾で拭かないでください。装置またはケースの変形、変色、故障の原因となります。
6. 機器本体を落としたり、強い衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。
7. 確実な運用を保持するため、定期的な点検を行ってください。
8. 温度・湿度条件内でご使用ください。範囲外で使用すると故障の原因となります。
9. 振動のある場所や衝撃が発生する場所には、設置しないでください。故障の原因となります。
10. 長期間保管するときは、高温となる所や寒暖の差が多い所を避けてください。電池、電子部品などの劣化が早くなり、故障の原因となります。長期間（6 ヶ月以上）保管後、使用される場合は、購入先までご相談ください。
11. 保管の際は、水や金属など異物が入らないよう注意してください。異物が入ったまま使用すると、故障、感電、火災の原因となります。
12. 保管の際は、上に物を乗せたり、落下する恐れのある所を避け、埃など異物が入らないようにしてください。

目次

必ずお読みください........1
安全上のご注意........3
目次........7
機器編........8
1.　はじめに........9
　1-1. システム構成品........10
　1-2. オプション品........10
　1-4. 接続可能な電気錠........11
　1-5. 設定・管理用ＰＣについて........11
設置編........12
1.　設置工事の手順........13
　①　工事仕様の確認........14
　②　機材・工具の準備........14
　③　ケーブルの配線と壁の加工........15
　④　SIU 子機の設置........19
　⑤　電源ユニットの設置........22
　⑥　SIU 親機のケーブル接続........25
　⑦　電気錠との接続........26
　⑧　設定と動作確認........28
　⑨　システムの動作確認........42
装置仕様........46
1.　SIU（サテライト・インテリジェント・ユニット）........47
　1-1. 各部の名称と働き........47
　1-2. 主な仕様........50
　1-3. 寸法図........50
2．壁掛けキット........52
　2-1. 壁掛けベース........52
　2-2. 壁掛けプレート........52

機器編

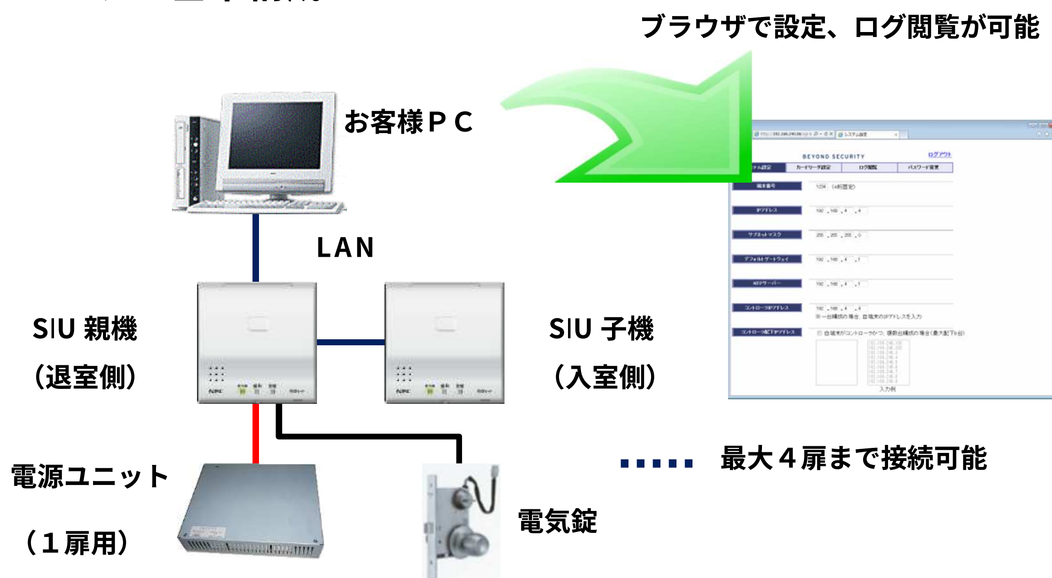
1. はじめに

SecureFrontia Lite（セキュアフロンティアライト）は、上位機 SecureFrontia X（セキュアフロンティアエックス）の機能を簡略化し、ブラウザ（ウェブブラウザ）だけで設定・操作をできるようにした入退管理システムです。

● 主な特長

- 専用 PC や専用ソフトが不要のため、設置・運用が簡単です。
- カードリーダに全ての機能を内蔵したコンパクトな設計です。
- IC カードは専用カード（MIFARE、FeliCa）の他、現在お使いの社員証（FeliCa の場合）交通系 IC カード、モバイル FeliCa を搭載した携帯電話やスマートホンが利用可能です。

● システム基本構成



※SIU 子機を設置せず、SIU 親機のみで運用することも可能です。（親機のみセット）
その場合は SIU 親機を入室側とし、退室側は解錠用の押しボタンを接続します。



専用カード（MIFARE、FeliCa）の他、
お使いの FeliCa 社員証、交通系 IC カード、
FeliCa 搭載携帯電話／スマートホンが利用
可能です。

1-1. システム構成品

本システムの標準構成品です。（親子セットの場合）

(1) ＳＩＵ親機

品　名	数量	記　事
SIU 親機　本体	1	
挟み込み板金	1	
取り付け板金	1	
コネクタ付電源ケーブル	1	
ローバッテリケーブル	1	
SD カード	1	本体に実装されています。
保証書	1	日付が入っていることをお確かめください。
取扱い説明書	1	本書

(2) ＳＩＵ子機

品　名	数量	記　事
SIU 子機　本体	1	単体では動作しません。
挟み込み板金	1	
取り付け板金	1	
SD カード	1	本体に実装されています。
保証書	1	日付が入っていることをお確かめください。

(3) 電源ユニット

品　名	数量	記　事
電源ユニット　本体	1	SIU 親機１台に対して 1 台必要です。
AC ケーブル	1	電源ユニット内の端子台に接続して用います。
ケーブルクランプ	2	電源ユニット内部のケーブル固定用です。

(4) 壁掛けキット　(SIU 親機/子機共通)

項目	数量	記事
壁掛けベース	1	樹脂製
壁掛けプレート	1	金属製
壁掛けネジ（小)	4	壁掛けベースをプレートに取り付ける際に使用します。
壁掛けネジ（大)	2	壁掛けプレートを壁に取り付ける際に使用します。木壁用です。

※親機のみセットの場合は、SIU 子機および壁掛けキット 1 個を含みません。

1-2. オプション品

本システムに関するオプション品です。

品　名	数量	記　事
MIFARE カード	10 枚	当社指定の専用カードです。

1-4. 接続可能な電気錠

SIU 親機に接続可能な電気錠は下表の通りです。
他の電気錠については販売店にお問い合わせください。

電気錠メーカ／電気錠タイプ	美和ロック㈱	㈱ゴール	㈱ユーシン・ショウワ	セキュリトロン（マグナロック）
通電時施錠型	AUT	ELR/EUR	ー	M32SC-24M
通電時解錠型	AUR	ELT/EUT	ECH103A	
瞬時通電施解錠型	ALA	EXS	ー	
モーター錠	AL3M/AFF	EM/ME	EMX	

1-5. 設定・管理用ＰＣについて

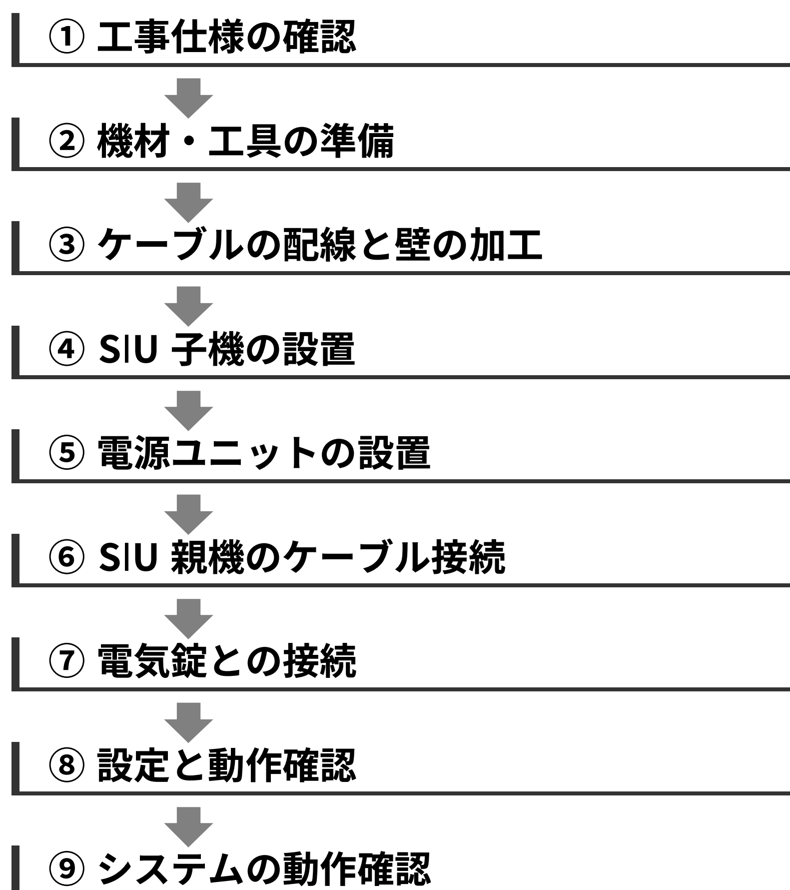
以下のＰＣが設定および管理に必要です。

環境条件
- OS　Windows7
- ブラウザ　InternetExplore８以降
- LAN　接続可能なこと

設置編

1. 設置工事の手順

設置工事は以下の手順で行ってください。



① 工事仕様の確認

事前に作成した工事仕様書に基づいて、現地の工事に問題が無いか、確認してください。
（SIU および電源ユニットの設置場所、穴開け位置、配線経路など。）

② 機材・工具の準備

工事仕様書に基づいて、必要なものが揃っているか確認してください。

②-1　システム構成品

SecureFrontia Lite（親子セットの場合）には以下が含まれています。

・SIU 親機　　　（１台）
・SIU 子機　　　（１台）
・壁掛けキット　（２個）
・電源ユニット　（１台）

機器編 1-1. システム構成品を参照し、内容が全てそろっていることを確認してください。

親機のみセットの場合は SIU 子機と壁掛けキット１個を含みません。
また解錠用の押しボタンが必要です。
押しボタンはセットに含まれませんので、別途用意する必要があります。

②-2　販売店にてご用意いただく機材

・バインドネジ（SIU に含まれる板金の固定に使います）
・電気錠
・通電金具（ドアと壁の間の配線に必要です）
・ケーブル類

DC ケーブル	(VCTF0.5 x ３C)
絶縁被覆付閉端接続子	(ニチフ CE2)
絶縁被覆付圧着端子	(ニチフ TMEV1.25Y-3S)
電気錠ケーブル	(CPEV0.65-3P)
LAN ケーブル	(CAT5.0)
子機用 LAN ケーブル	(CAT5.0)

②-3　販売店にてご用意いただく工具類

・設定用 PC（有線 LAN 接続できるノート PC）
・設定用 LAN ケーブル（ストレート、1.5m）
・圧着工具（接続子用、端子用）
・特殊ネジ用ドライバー（DLR３-75T，LH スティックス用）
・精密ドライバー
・SIU 親機を結線および設定作業中に仮固定するフック等

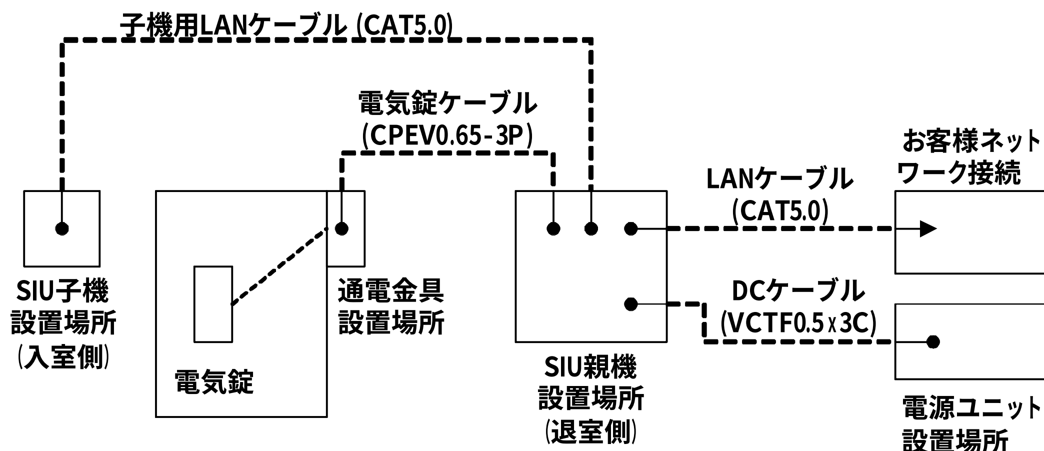
以下は必要に応じてご用意ください

・配線用モール
・結束バンド
・石膏ボード用アンカー、ナットネジ、コンクリートネジ等

③ ケーブルの配線と壁の加工

③-1　装置間のケーブル配線

装置を取り付ける前に全てのケーブルをそれぞれの装置設置場所まで配線してください。



ご注意

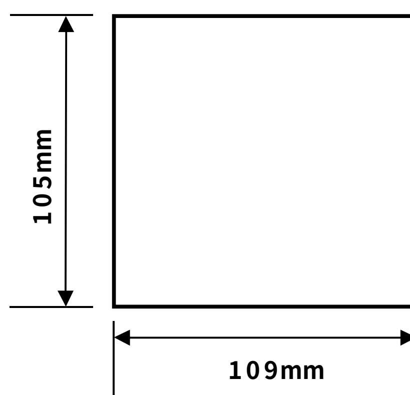
扉の加工および電気錠から通電金具までの取り付けは、電気錠メーカの施工代理店にご相談願います。
親機のみセットの場合は、SIU 親機を入室側とし、解錠用押しボタンを退室側に配置してください。
ここでは親子セットの SIU の設置および接続方法を説明します。

ケーブル配線は、壁内を通すかモールを使用して設置します。
各ケーブルの長さは、設置場所で装置に接続できるだけの余長を確保してください。
LAN ケーブルは、お客様ネットワーク接続先に接続してください。
LAN ケーブルと子機用 LAN ケーブルは SIU 親機設置場所で見分けがつくように
印などをつけておくと便利です。
SIU の設置方法により壁の加工方法が異なります。

- 壁板に穴を開けて SIU を埋め込む場合は ③-2、③-3 を参照してください。
- SIU を壁に埋め込まない場合は ③-4 を参照してください。

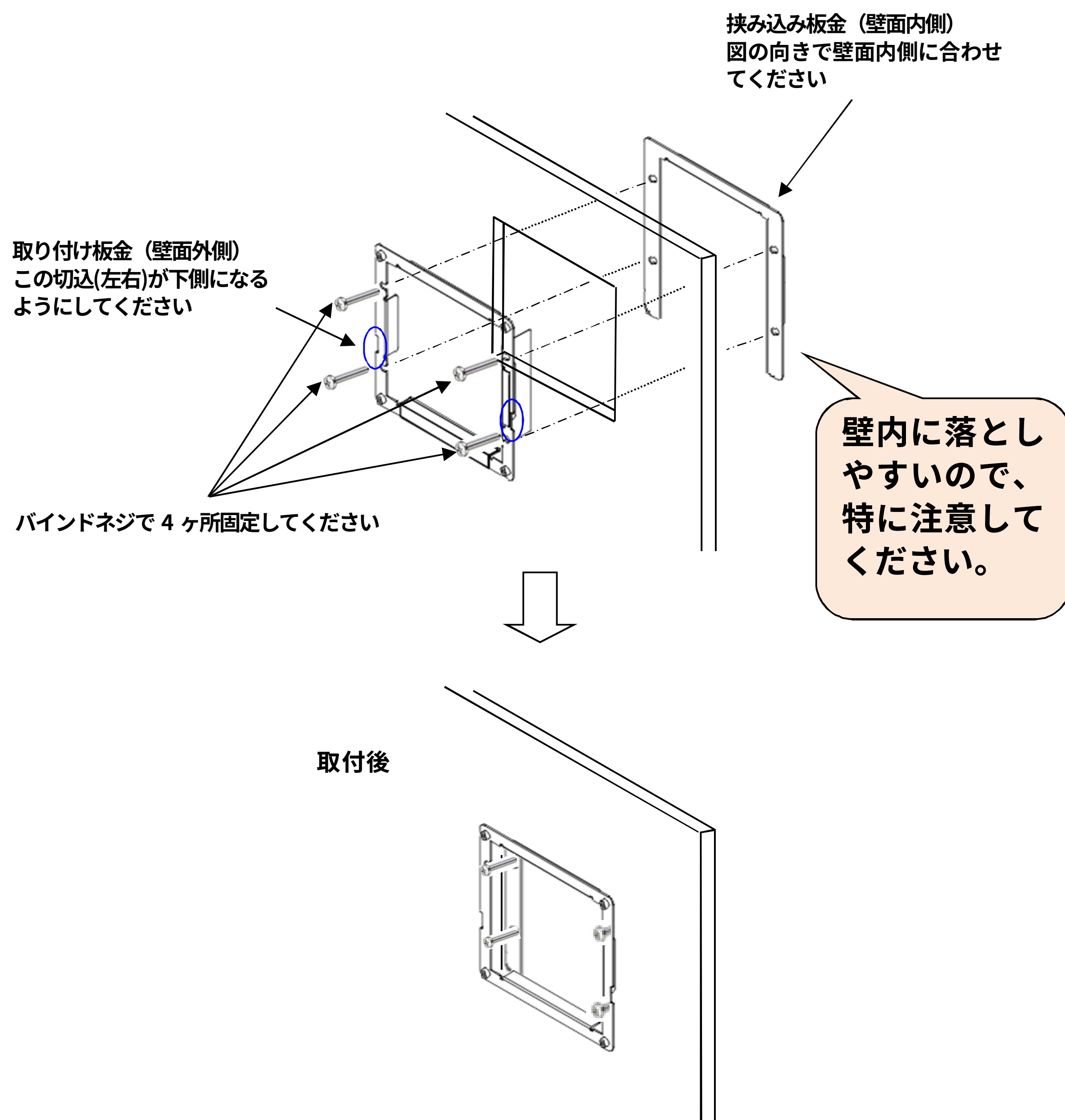
③-2　SIU を埋め込む場合

壁板に SIU を設置するための穴を開けてください。穴の寸法は下図の通りです。



③-3　挟み込み板金と取り付け板金の設置

SIU に同梱されている板金を同梱の下図の要領で設置してください。

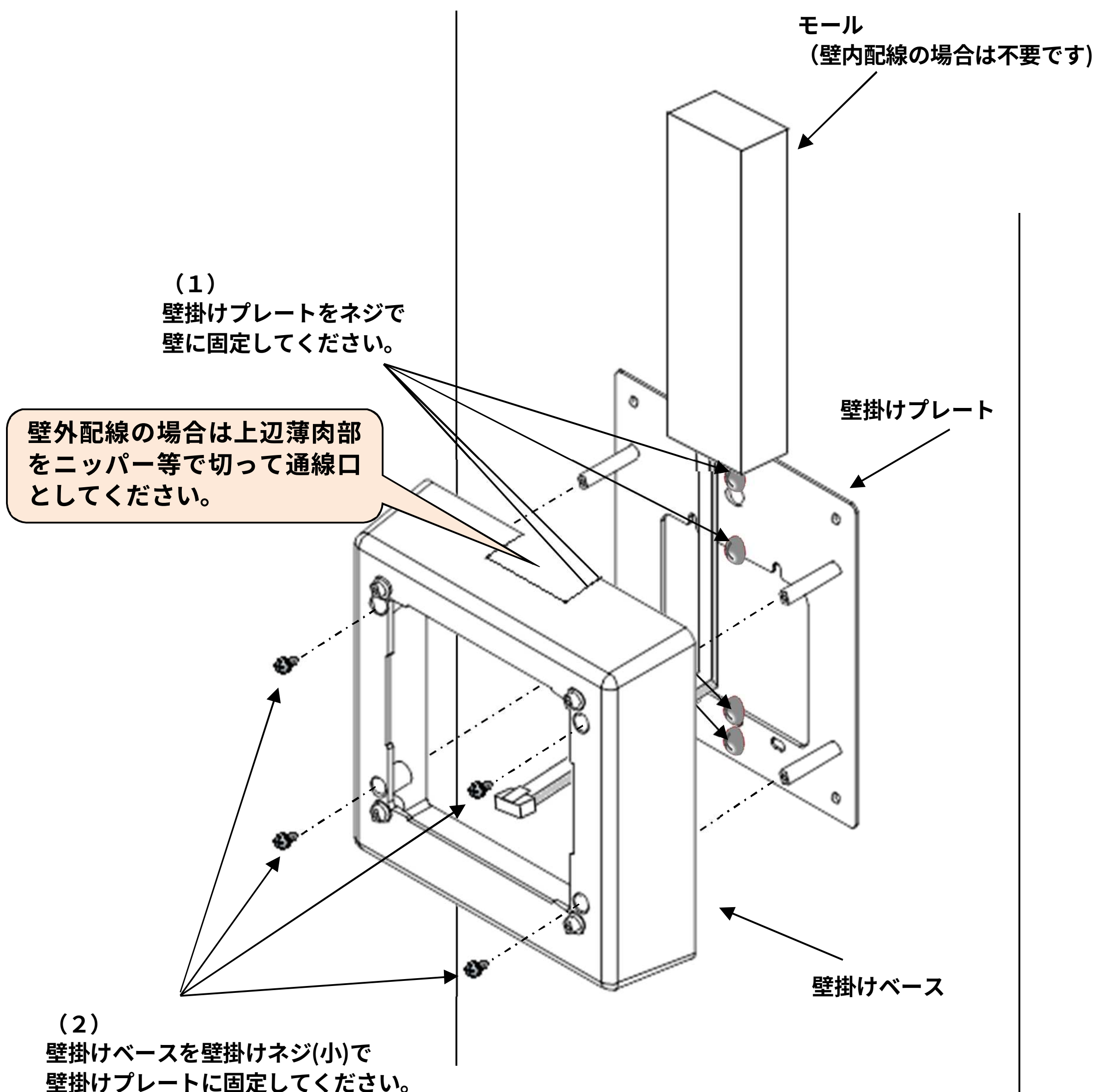


ご注意

挟み込み板金を壁内に落とさないように注意ください。
バインドネジは壁板の厚みに合った長さのものをご用意ください。
皿ネジは取り付け板金が変形しますので使用しないでください。

③-4　SIU を壁面に埋め込まずに設置する場合

セットに含まれる壁掛けキットを使用します。
下図（1）（2）の順で壁掛けプレート、壁掛けベースを取り付けてください。
ケーブルを壁外に配線する場合は、取り付け前に壁掛けベースの上辺薄肉部を切り抜いてケーブル通線口を作ってください。



ご注意

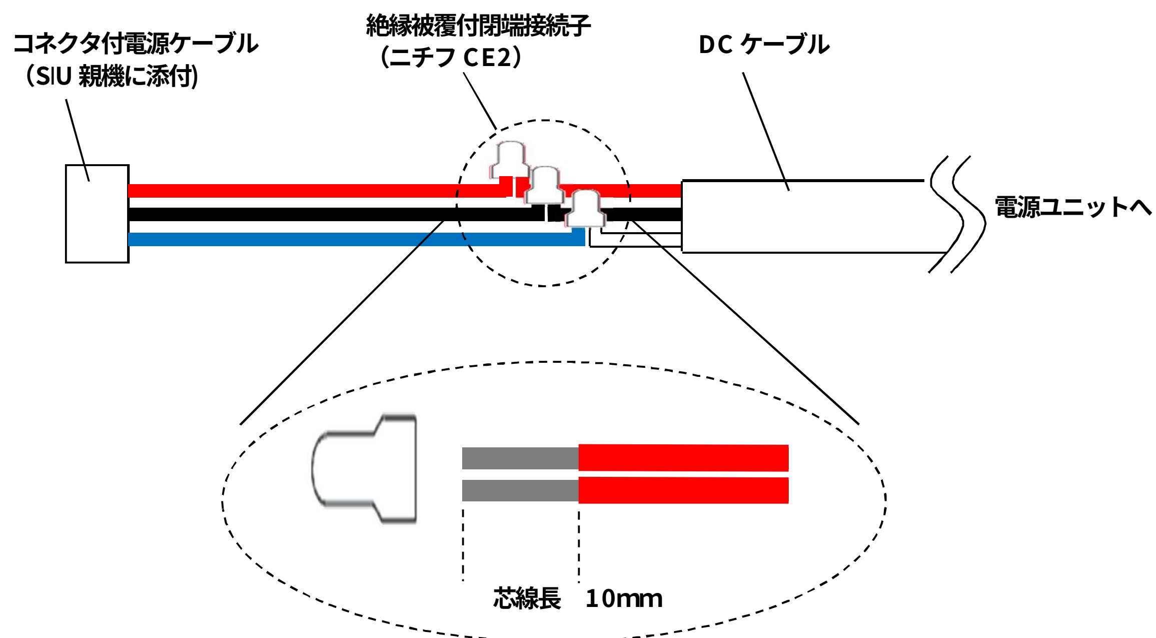
壁掛けキットの壁掛けネジ(大)は木製壁の場合にのみ使用してください。
石膏壁、スチール壁等の場合は壁材に適したネジを別途用意してください。

ご注意

ケーブル通線口の切断部は必ずやすり等を用いて滑らかにしておいてください。
鋭くとがったままではケーブルを損傷したり、指を怪我したりする恐れがあります。

③-5　コネクタ付電源ケーブルの結線

SIU 親機設置場所で、DC ケーブルにコネクタ付電源ケーブルを結線してください。



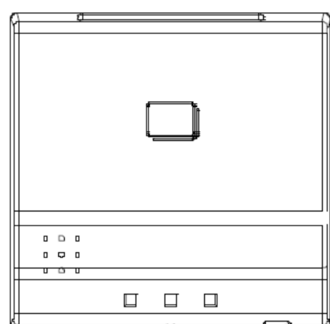
表：電源ケーブル接続仕様（必ずこの組合せで結線してください）

名称	コネクタ付 電源ケーブル	DC ケーブル	結線部品
24V	赤	赤	絶縁被覆付閉端接続子
GND	黒	黒	絶縁被覆付閉端接続子
停電検出信号	青	白	絶縁被覆付閉端接続子

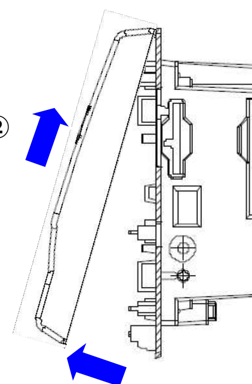
④ SIU 子機の設置

④-1　フロントカバー取り外し

SIU 子機の特殊ネジを緩めてフロントカバーを外してください。
ネジを緩め切った後、フロントカバーの左右を持って下から持ち上げるようにして外します。



特殊ネジ



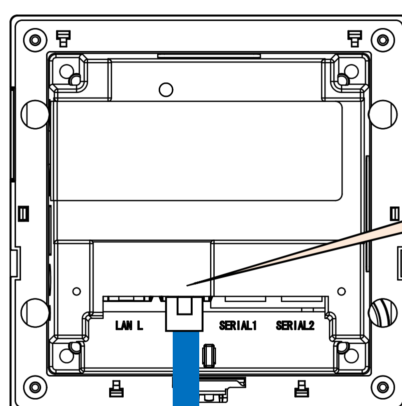
①
上辺を支点にカバーを開け、
全体を持ち上げてください。

ご注意

特殊ネジは緩め切った状態でもフロントカバーからは外れません。
フロントカバーを無理に外すと上辺の引っ掛け部を破損しますので、丁寧に外してください。

④-2　子機用 LAN ケーブル接続

SIU 子機の背面の LAN H コネクタに子機用 LAN ケーブルを接続してください。



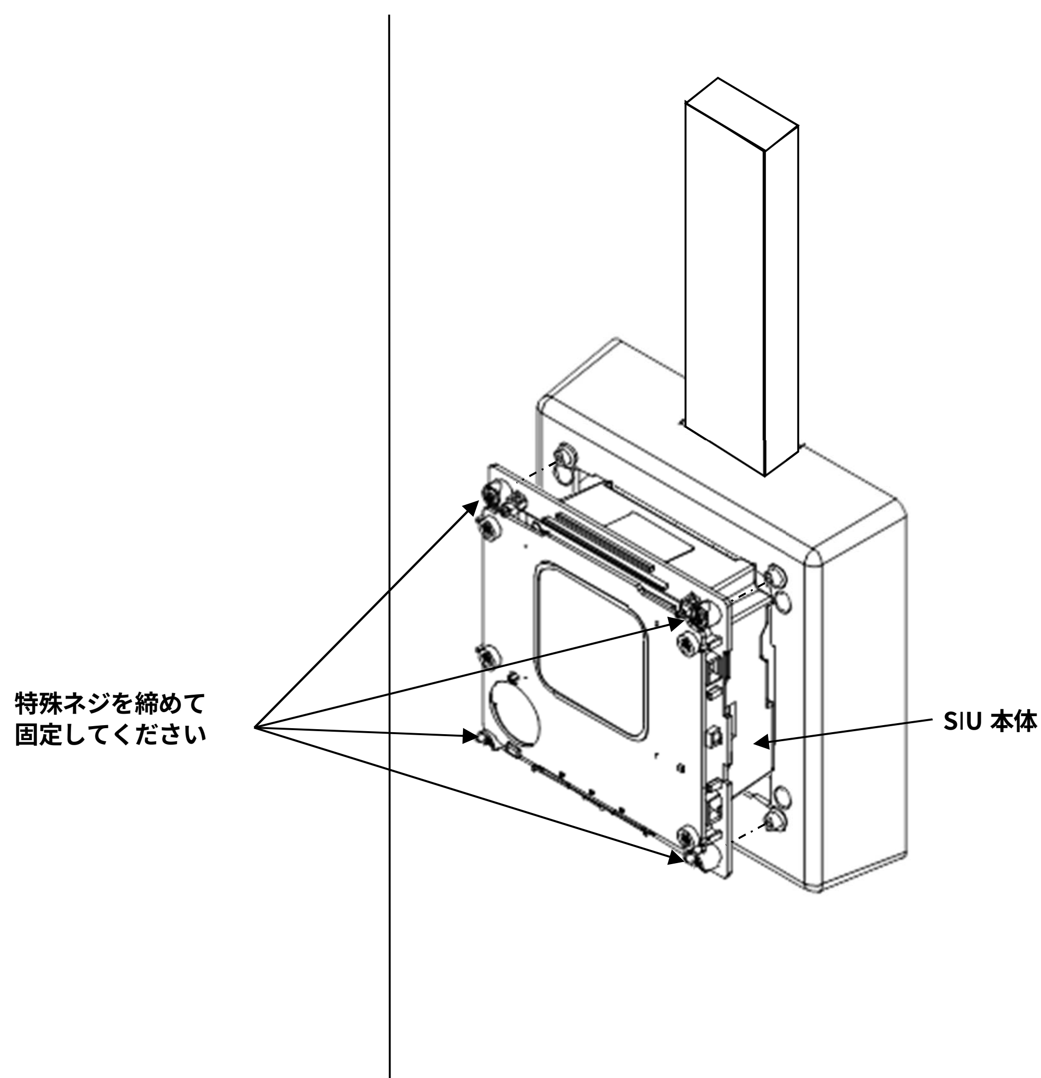
LAN H へ接続

SIU 親機へ

子機用 LAN ケーブル

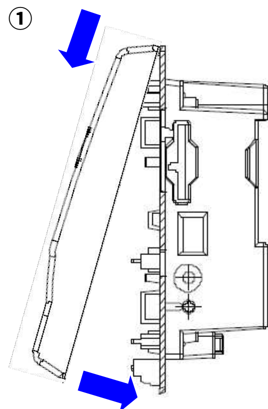
④-３　壁への取り付け

SIU 子機を壁に取り付けてください。
下図は壁掛けキットの例を示しています。
壁内に埋め込む場合も同様です。
ケーブルを挟まないよう、SIU 本体を押し込んで、４箇所の特殊ネジで固定してください。

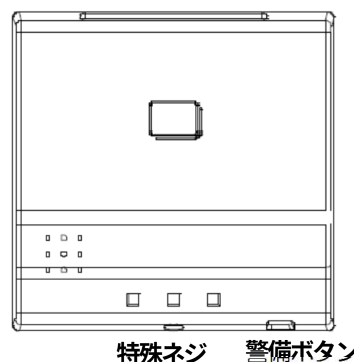


④-４　フロントカバーの取り付け

外したフロントカバーを元通りに取り付け、特殊ネジで固定します。



②
上辺を支点にしてカバー
を閉めてください





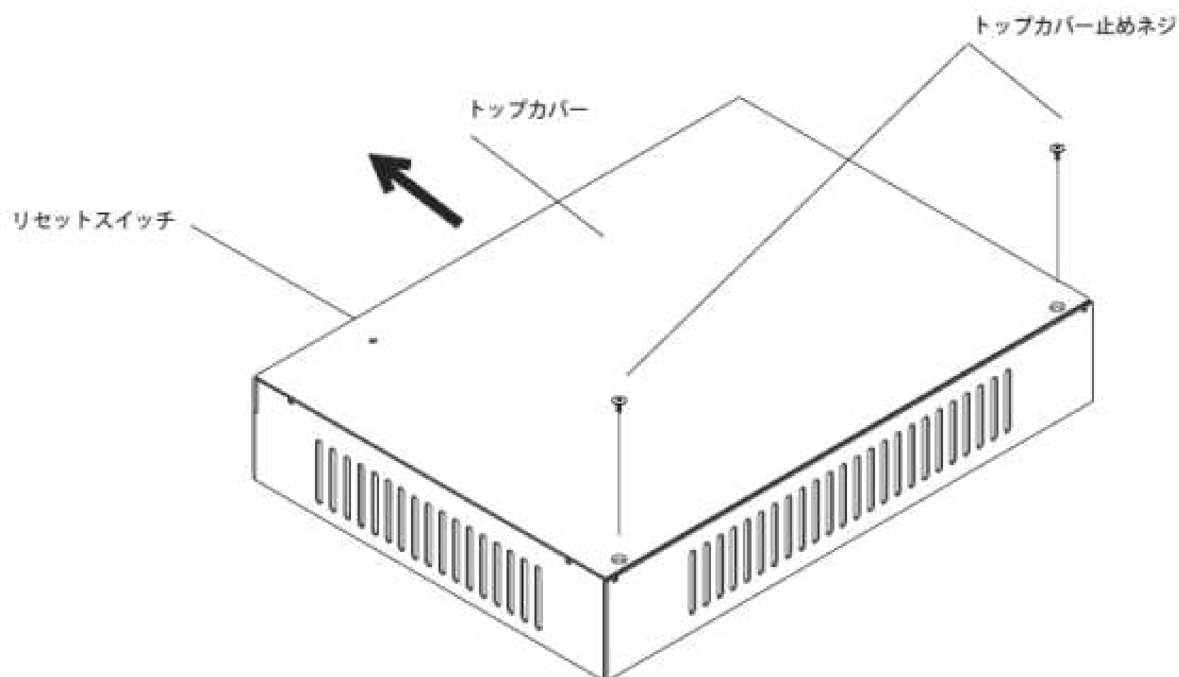
ご注意

フロントカバー取り付け時は左右側面を持ち、警備ボタン部には触れないでください。

⑤ 電源ユニットの設置

⑤-１　トップカバーの取り外し

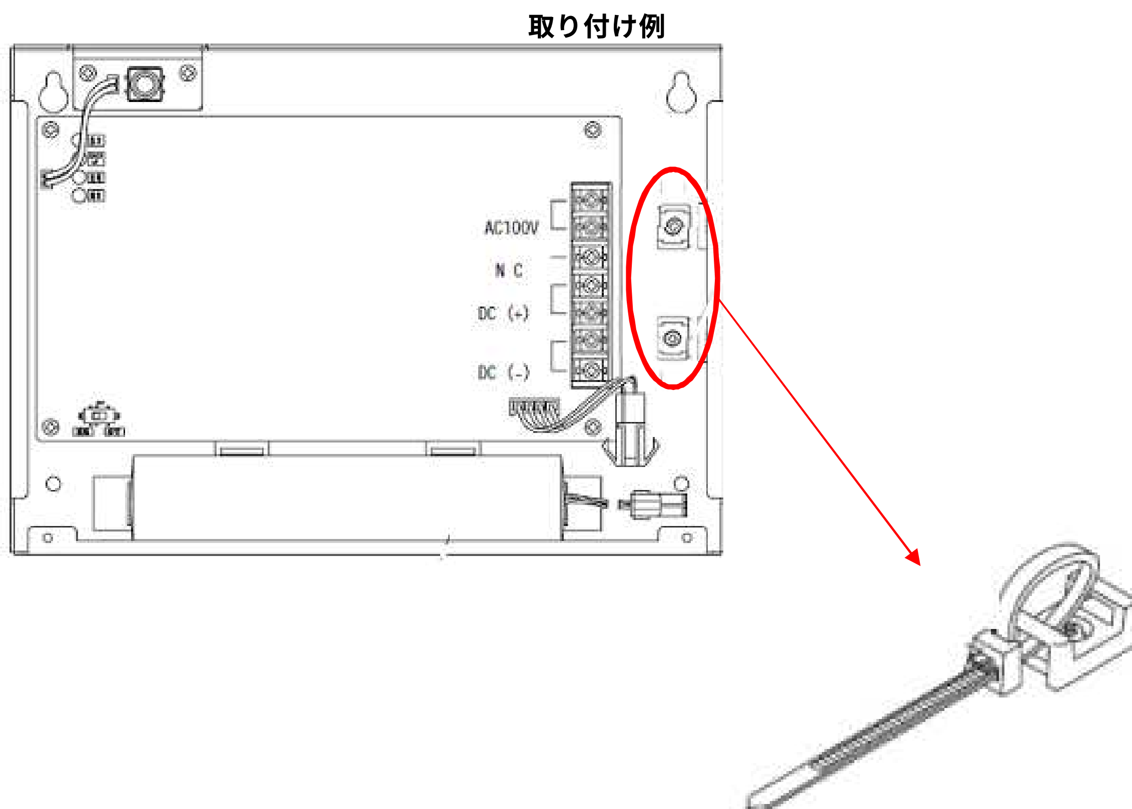
電源ユニットのトップカバー止めネジを外し、トップカバーを矢印の方法にずらして外します。



⑤-2　ケーブルクランプ取付け

ケーブルクランプを、ケーブル挿入口側の台座に通します。

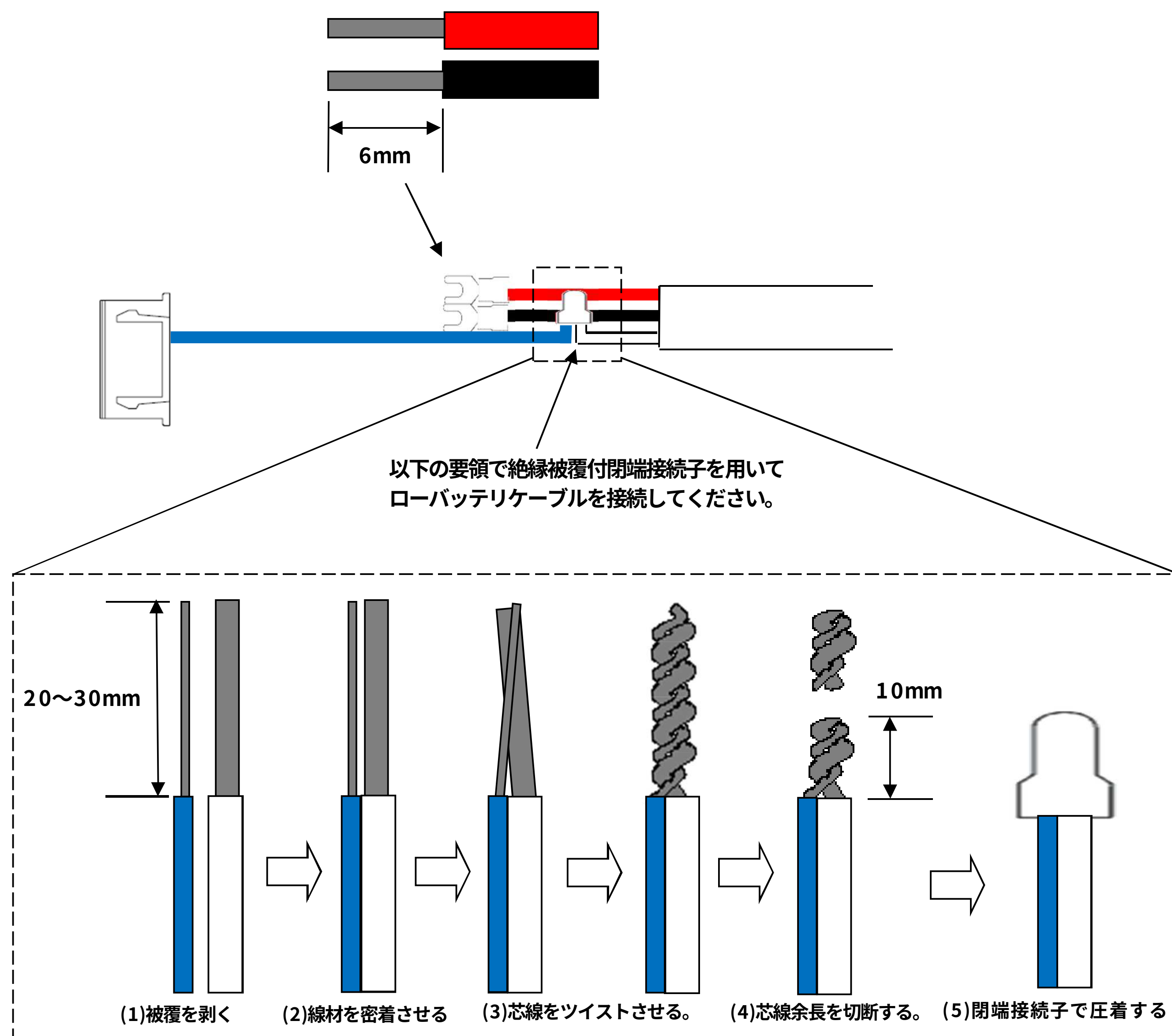
取り付け例



⑤-3　DC ケーブルの加工

DC ケーブルをケーブル挿入口から通し、端子およびローバッテリケーブルを接続してください。

赤、黒はケーブルの被覆を剥き、絶縁被覆付圧着端子を接続してください



表：電源ユニットの DC ケーブル接続仕様（必ずこの組合せで結線してください）

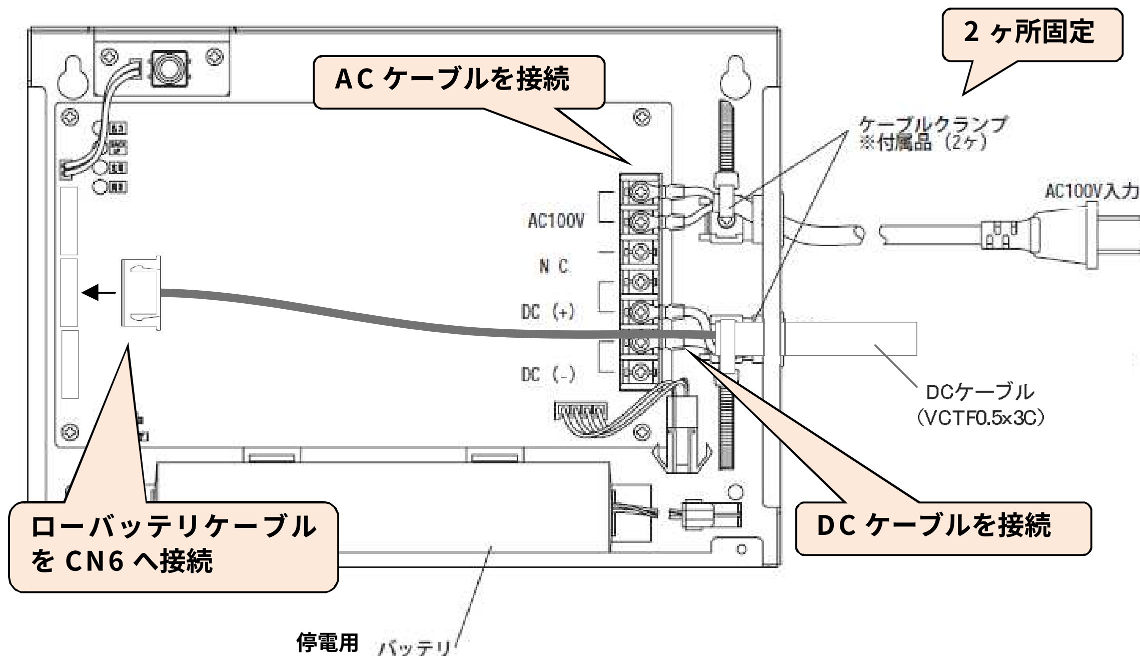
名称	ローバッテリケーブル	DC ケーブル	結線部品
24V	-	赤	絶縁被覆付圧着端子
GND	-	黒	絶縁被覆付圧着端子
停電検出信号	青	白	絶縁被覆付閉端接続子

⑤-4　AC ケーブルの接続

AC ケーブルをケーブル挿入口から通し、AC100V 端子に接続してください。
その後、ケーブルクランプで固定してください。（下図を参照）
AC プラグはまだ 100V コンセントに差し込まないでください。

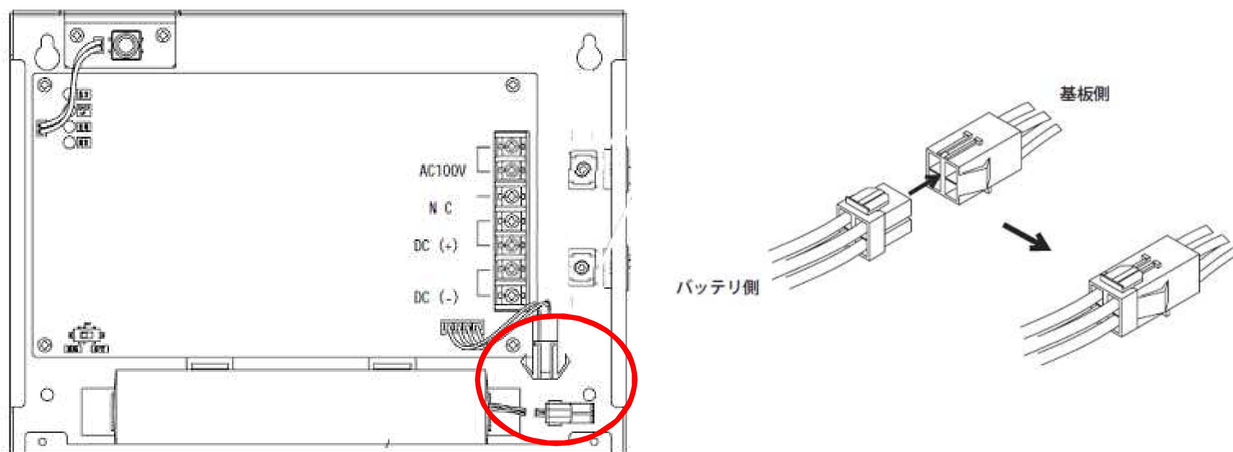
⑤-5　 DC ケーブルの接続

DC ケーブルの赤を DC(+)へ、黒を DC(-)へ接続してください。
また、ローバッテリケーブルを基板上のコネクタ CN6 へ接続してください。
その後、ケーブルクランプで固定してください。



⑤-6　バッテリコネクタの接続

下図の基板側コネクタと、バッテリ側のコネクタをロック状態まで確実に接続してください。



⑤-7　トップカバーの取付け

トップカバーを⑤-１の逆の手順で取り付けて、トップカバー止めネジで固定してください。

⑥ SIU 親機のケーブル接続

⑥-1　SIU 親機の仮固定

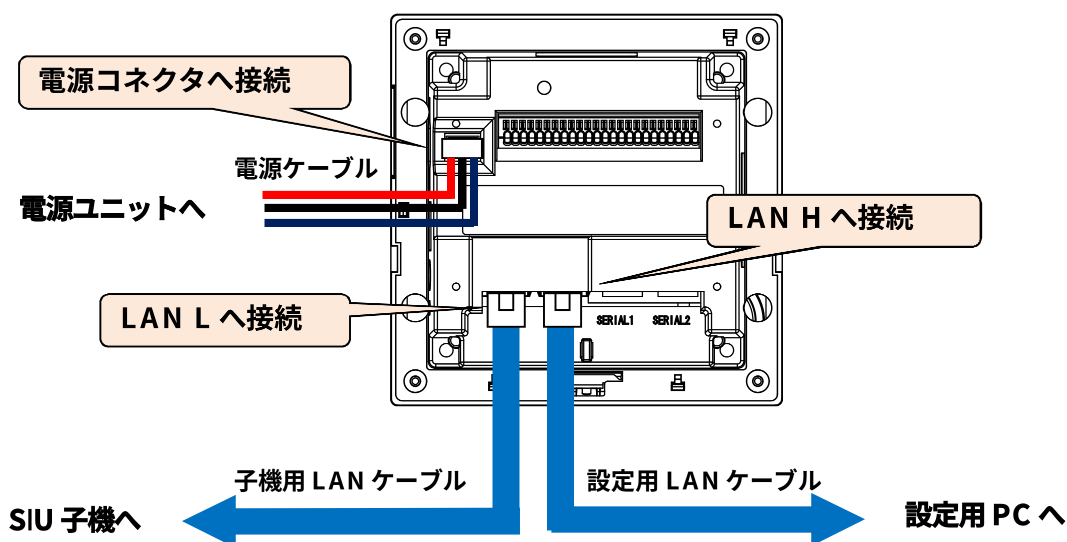
SIU 親機をフック等で設置場所付近に仮固定してください。

ご注意

SIU 親機は結線および設定作業の間、ケーブルに力が掛からないようにしてください。
片手で支えて作業することは難しいため、仮固定用のフックなどを用意してください。
SIU 親機のフロントカバーはまだ外さないでください。

⑥-2　SIU 親機へのケーブル接続

SIU 親機に次のケーブルを接続してください。
・コネクタ付電源ケーブル
・子機用 LAN ケーブル（LAN L 端子）
・設定用 LAN ケーブル（LAN H 端子）



ご注意

LANケーブル（お客様のネットワークに繋がるケーブル）はまだ接続しないでください。

⑦　電気錠との接続

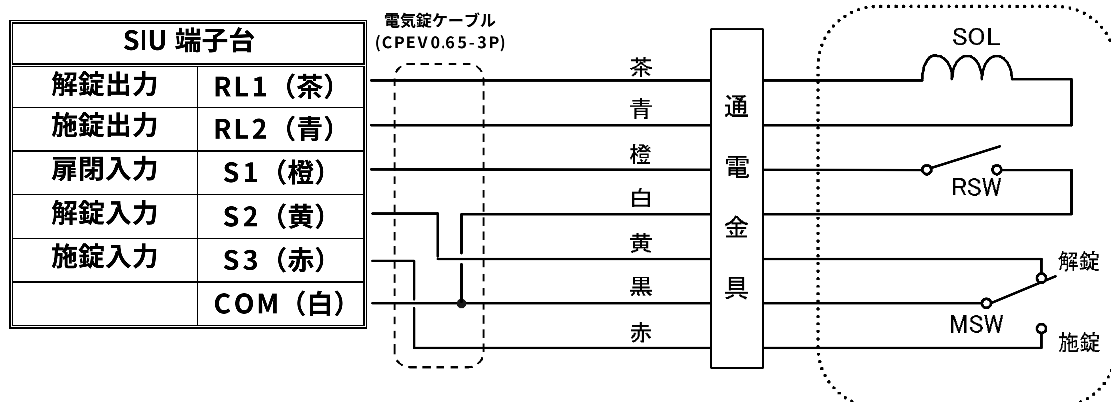
扉の加工と、電気錠から通電金具までの取り付けは、電気錠メーカの施工代理店にご相談願います。
本項では通電金具から伸ばした電気錠ケーブルと SIU 親機の接続を説明します。

⑦-1　SIU 親機への電気錠ケーブル結線

SIU 親機設置場所に仮固定した SIU 親機の端子台に電気錠ケーブルを結線してください。
端子台の詳細は「装置仕様　1.SIU　1-1　各部の名称と働き　端子台」を参照してください。

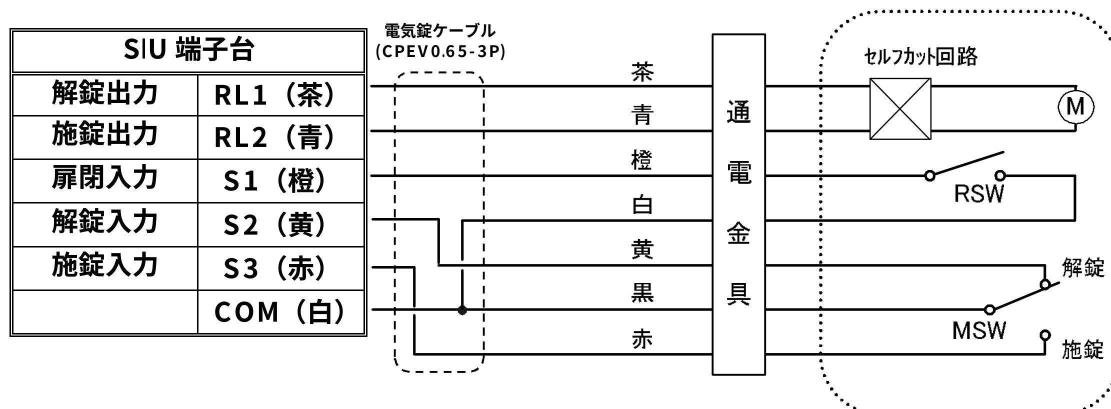
≪美和ロック㈱製電気錠≫

AUT（通電時解錠型）／AUR（通電時施錠型）機能切替型



上図は、開扉、解錠状態を示します
SOL：ソレノイド
RSW：リードスイッチ（閉扉で ON）
MSW：マイクロスイッチ（施解錠確認用）

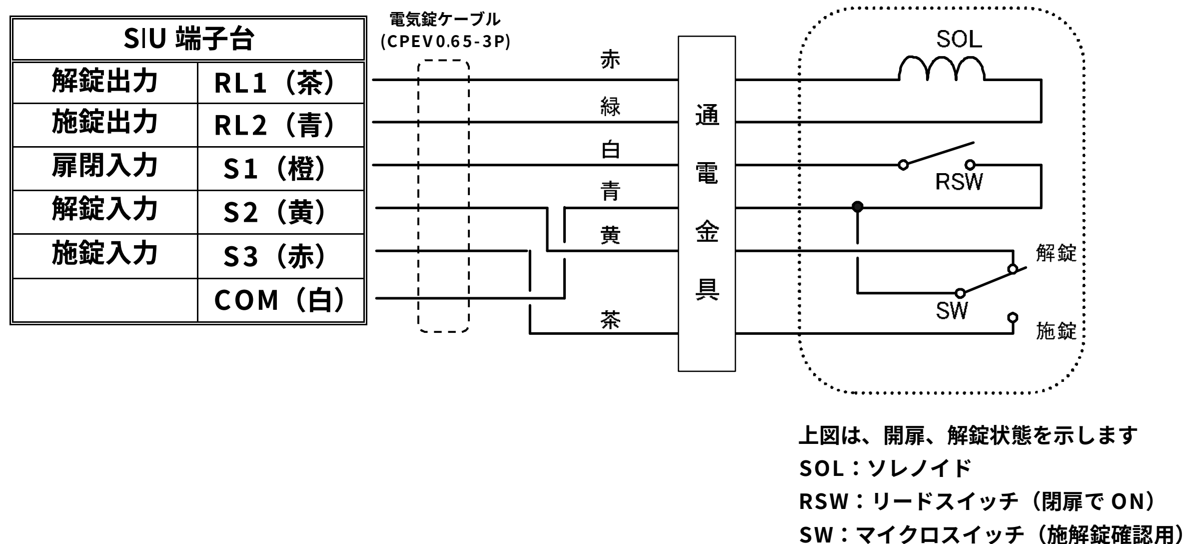
AL3M（モーター錠）



上図は、開扉、解錠状態を示します
Ⓜ：モーター
RSW：リードスイッチ（閉扉で ON）
MSW：マイクロスイッチ（施解錠確認用）

≪㈱ゴール製電気錠≫

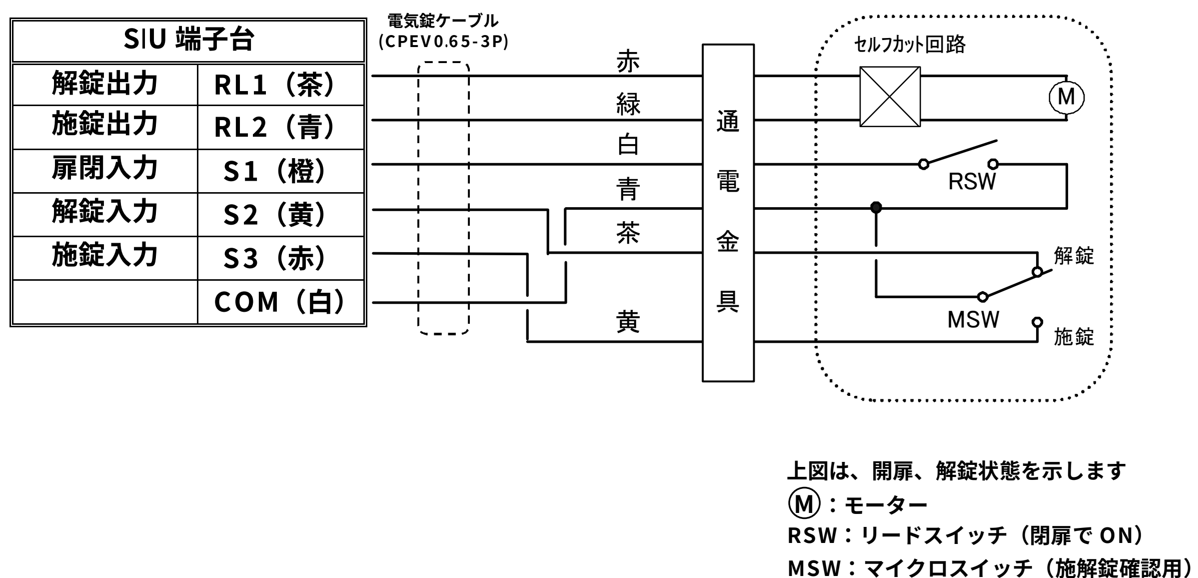
ＥＵＴ（通電時解錠型）／ＥＵＲ（通電時施錠型）機能切替型



SIU 端子台	
解錠出力	RL1（茶）
施錠出力	RL2（青）
扉閉入力	S1（橙）
解錠入力	S2（黄）
施錠入力	S3（赤）
	COM（白）

上図は、閉扉、解錠状態を示します
SOL：ソレノイド
RSW：リードスイッチ（閉扉で ON）
SW：マイクロスイッチ（施解錠確認用）

ＥＭ（モーター錠）



SIU 端子台	
解錠出力	RL1（茶）
施錠出力	RL2（青）
扉閉入力	S1（橙）
解錠入力	S2（黄）
施錠入力	S3（赤）
	COM（白）

上図は、閉扉、解錠状態を示します
Ⓜ：モーター
RSW：リードスイッチ（閉扉で ON）
MSW：マイクロスイッチ（施解錠確認用）

⑦-2　押しボタンの接続

解錠用押しボタンを用いる場合は DI2(一回解錠入力)-コモン間に接続してください。

⑧ 設定と動作確認

⑧-1　AC 電源接続

電源ユニットの AC プラグを 100V コンセントに差し込んでください。SIU が起動します。
SIU が起動すると以下のようになります。

- 電源ランプ（緑）点滅
- カードリーダランプ（赤）点灯→消灯
- 音声ガイダンス①「システムが起動しました。」
- 音声ガイダンス②「連続施錠モードに変更します」
- 音声ガイダンス③「カードリーダを使用可能にします」



電源ランプ（緑）のみ点灯

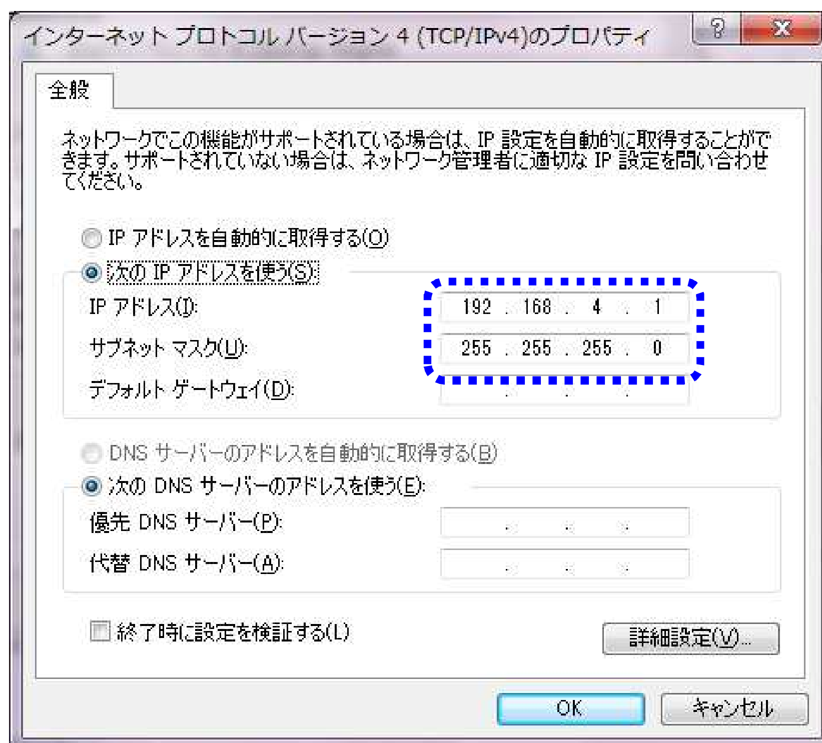
⑧-2　初期設定

設定用 PC を用いて初期設定を行います。

（1）　LAN ケーブル接続
設定用 PC に設定用 LAN ケーブルを接続します。

（2）　設定用 PC の IP 変更
設定用 PC の IP を一時的に SIU と同セグメント（192.168.4.1）へ変更します。
元に戻せるよう、変更前の設定をメモなどに控えておいてください。

タスクトレイの「ネットワークと共有センター」を開き、「ローカル接続」－「プロパティ」から「TCP/IPV4」－「プロパティ」を開き、IP アドレスとサブネットマスクを以下画面の通り設定してください。



（3） ネットワーク疎通確認

設定用 PC と SIU 親機間のネットワーク接続を確認するため、ping コマンドを送信します。

スタートボタンから、最下段「プログラムとファイルの検索」内に「cmd」と入力し、Enter 押下すると、コマンドプロンプト画面となります。そこから、「ping 192.168.4.4」と入力、Enter を押下し、ネットワーク疎通を確認してください。

・以下画面であれば正常とし次へ進んでください。

```
C:¥Users¥SFX>ping 192.168.4.4

192.168.4.4 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.4.4 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
192.168.4.4 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.4.4 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
192.168.4.4 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64

192.168.4.4 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 0ms、最大 = 1ms、平均 = 0ms
```

・以下画面となる場合、IP 設定を間違えているか、ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。⑧-１から見直しをお願いします。

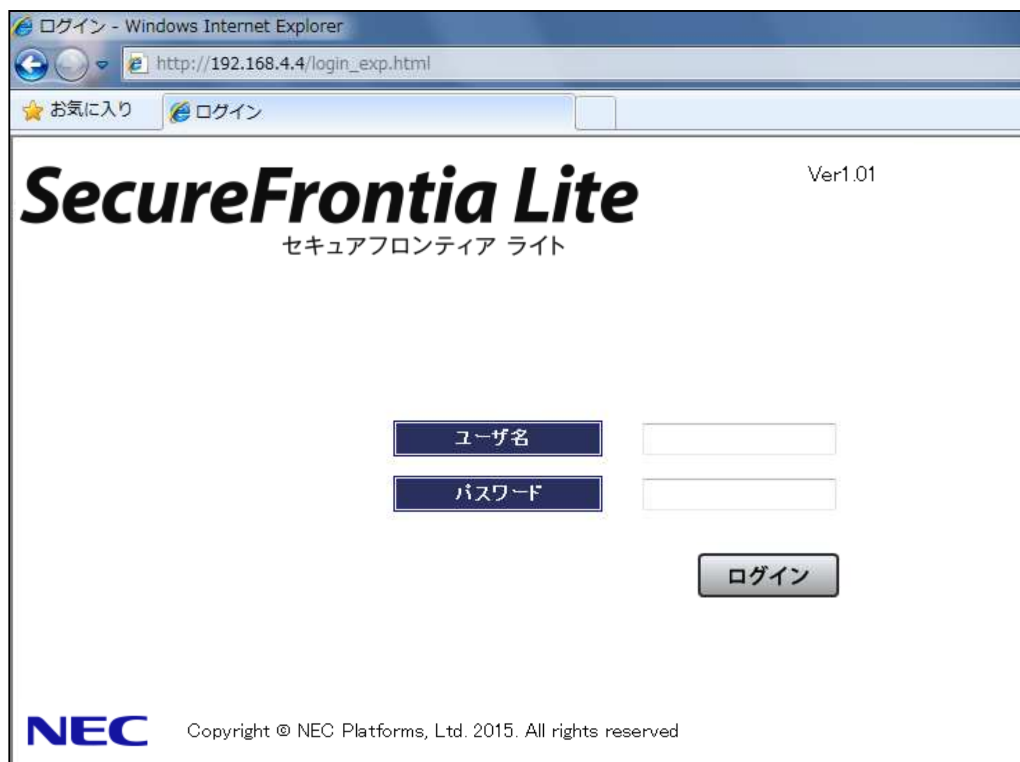
```
C:¥Users¥SFX>ping 192.168.4.4

192.168.4.4 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.4.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.4.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.4.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。
192.168.4.1 からの応答: 宛先ホストに到達できません。

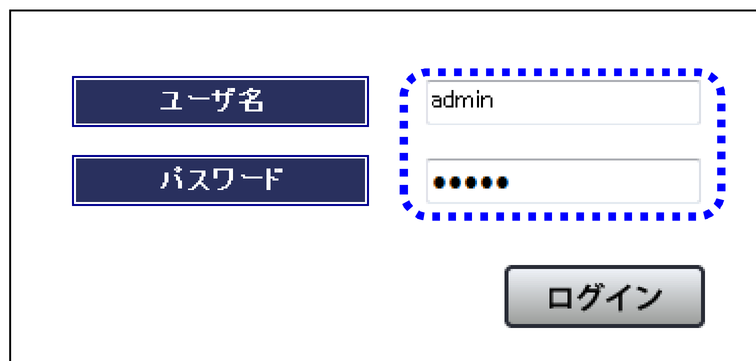
192.168.4.4 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
```

（４） システム設定

●設定用 PC からブラウザ（IE８以降）を開き、アドレス欄に
「http://192.168.4.4/」と入力し Enter 押下すると、トップメニュー画面が表示されます。



●ユーザ名に「admin」、パスワードに「necpf」と入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。



●トップメニュー画面からメニュー一番左の［システム設定］をクリックします。



●システム設定（マスター）画面が表示されます。
以下①～⑪の設定を行ってください。

① 機器種別の選択

当該機器をマスターとして設定する場合は「マスター(1 台目)」、スレーブとして設定する場合は「スレーブ(2～4 台目)」を選択します。

機器種別選択	◎ マスター(1台目)	◉ スレーブ(2～4台目)

② 親機入出区分の設定

親機が設置されるのがドアの外側(入室側)の場合は「親機が入室側」、内側(退室側)の場合は「親機が退室側」を選択します。
一般的には下記の設定となります。

親機のみを設置する場合 → 「親機が入室側」
親子構成で設置する場合 → 「親機が退室側」

親機入出区分	◎ 親機が入室側	◉ 親機が退室側

③ 自端末のネットワーク設定

接続するネットワークに合わせて「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」をそれぞれ設定します。

IPアドレス	192 . 168 . 240 . 254
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 240 . 1

④ NTP サーバーの設定

ネットワーク上に設置された NTP サーバーと時刻同期を行う場合は「接続先の IP アドレス」を設定します。

機器種別(①で設定)が「マスター(1 台目)」の場合のみ設定が可能です。

NTPサーバー	192 . 168 . 4 . 1 ※時刻同期を行う場合は接続先機器のIPアドレスを設定してください

機器種別が「スレーブ(2～4 台目)」の場合は自動的に「マスター(1 台目)」と動機するように設定され、変更することは出来ません。

NTPサーバー	192 . 168 . 4 . 1 ※時刻同期を行う場合は接続先機器のIPアドレスを設定してください

⑤ マスターもしくはスレーブの IP アドレス設定

機器種別(①で設定)が「マスター(1 台目)」の場合は配下のスレーブとなる端末の「IP アドレス」を設定します。

マスター IPアドレス	192 . 168 . 240 . 93
スレーブ1(2台目)IPアドレス	192 . 168 . 240 . 254
スレーブ2(3台目)IPアドレス	. . .
スレーブ3(4台目)IPアドレス	. . .

機器種別が「スレーブ(2～4 台目)」の場合はマスターとなる端末の「IP アドレス」を設定します。

マスター IPアドレス	192 . 168 . 240 . 93
スレーブ1(2台目)IPアドレス	192 . 168 . 240 . 254
スレーブ2(3台目)IPアドレス	. . .

⑥ 日付および時刻の設定

日付もしくは時刻が大きく狂っている等は手動で設定を行います。

日付	日付を更新する(NTPサーバー設定時は不要) 2015 年(西暦) 03 月 03 日
時刻	時刻を更新する(NTPサーバー設定時は不要) 01 時 49 分 08 秒

設定したい項目にチェックを入れると編集が可能となりますので、それぞれ正しい日付や時刻を設定します。個別に設定することも、同時に設定することも可能です。

日付	☑ 日付を更新する(NTPサーバー設定時は不要) 2015 年(西暦) 03 月 03 日
時刻	時刻を更新する(NTPサーバー設定時は不要) 01 時 49 分 08 秒

NTP サーバーの IP(④で設定)が設定されている場合は基本的に設定不要です。

⑦ 子機接続有無の設定

子機接続の有無を設定します。
扉の両側に設置する場合は「子機接続あり」をチェックし、片側のみに設定する場合は「子機接続あり」のチェックを外します。

子機接続	☑ 子機接続あり

⑧ 使用ｶｰﾄﾞの選択

使用するカードの種類を選択します。「MIFARE」のみ「FeliCa」のみ、あるいは両方の混在運用が可能です。

MIFARE の場合 → 当社指定の MIFARE カードが利用できます。
FeliCa の場合 → 一般的な FeliCa カードの「IDm」が利用できます。

使用カード選択	☐ Mifare	☑ FeliCa

⑨ 電気錠の種別選択

使用する電気錠の種類を選択します。

電気錠種別	通電施錠 ▾

電気錠種別の選択肢とそれぞれの設定内容を下記に示します。

№	選択肢名称	電気錠タイプ	給電	施錠入力監視	解錠入力監視	扉閉信号監視
1	通電施錠	通電時施錠型	○	○	○	○
2	通電施錠 監視なし		○	×	×	○
3	通電施錠 閉監視なし		○	○	○	×
4	通電解錠	通電時解錠型	○	○	○	○
5	通電解錠 監視なし		○	×	×	○
6	通電解錠 閉監視なし		○	○	○	×
7	自動ドア 閉監視あり		×	×	×	○
8	自動ドア 閉監視なし		×	×	×	×
9	瞬時型	瞬時型	○	○	○	○
10	モーター錠	モーター錠	○	○	○	○

⑩ 警備ボタンの使用有無選択

警備設定を使う場合は「使用する」、使わない場合は「使用しない」を選択します。

警備ボタン使用有無	○ 使用する	◉ 使用しない

⑪ 音量に関する設定

音声およびブザーの音量を設定します。
それぞれ無音(0)、小(1)～大(5)の 6 段階から設定が出来ます。

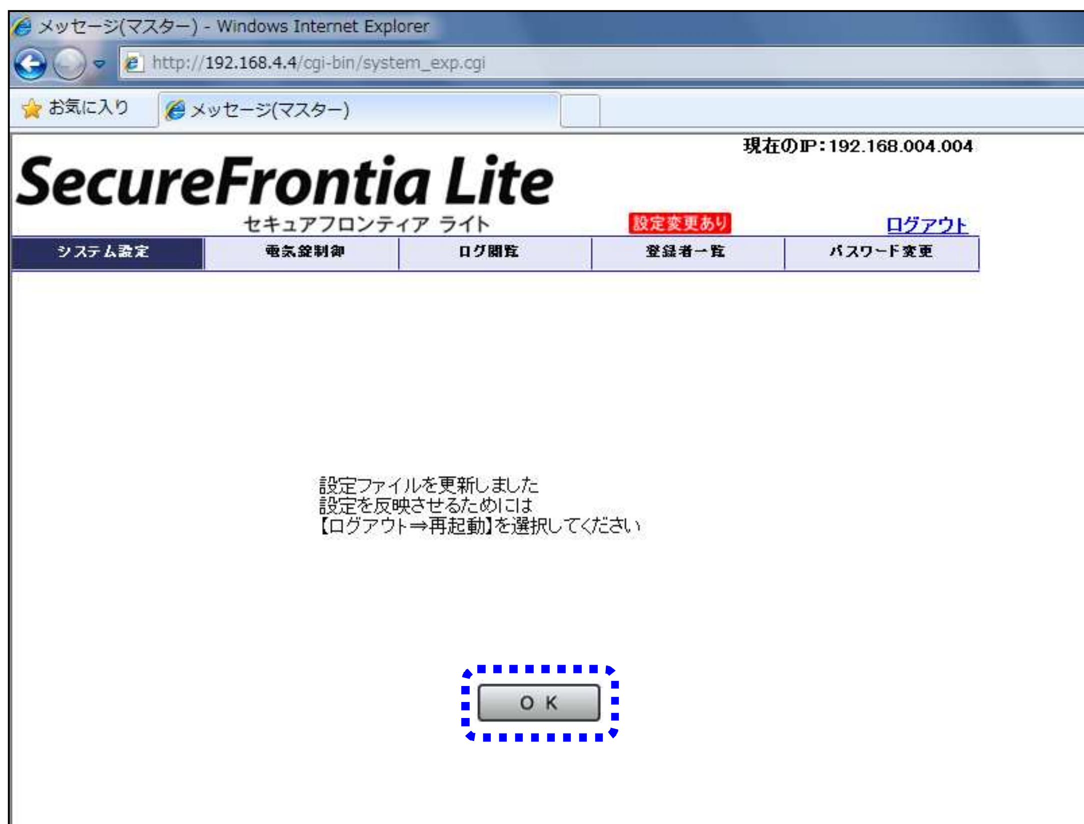
下記に示す音声出力については個別に出力の有無を設定することが出来ます。

一回解錠 → リモート操作による解錠行う際のガイダンス
「一回解錠を行います」
扉開放異常 → 解錠操作を行った後、扉が開けっ放しになっている場合の警告
「扉を閉めてください」

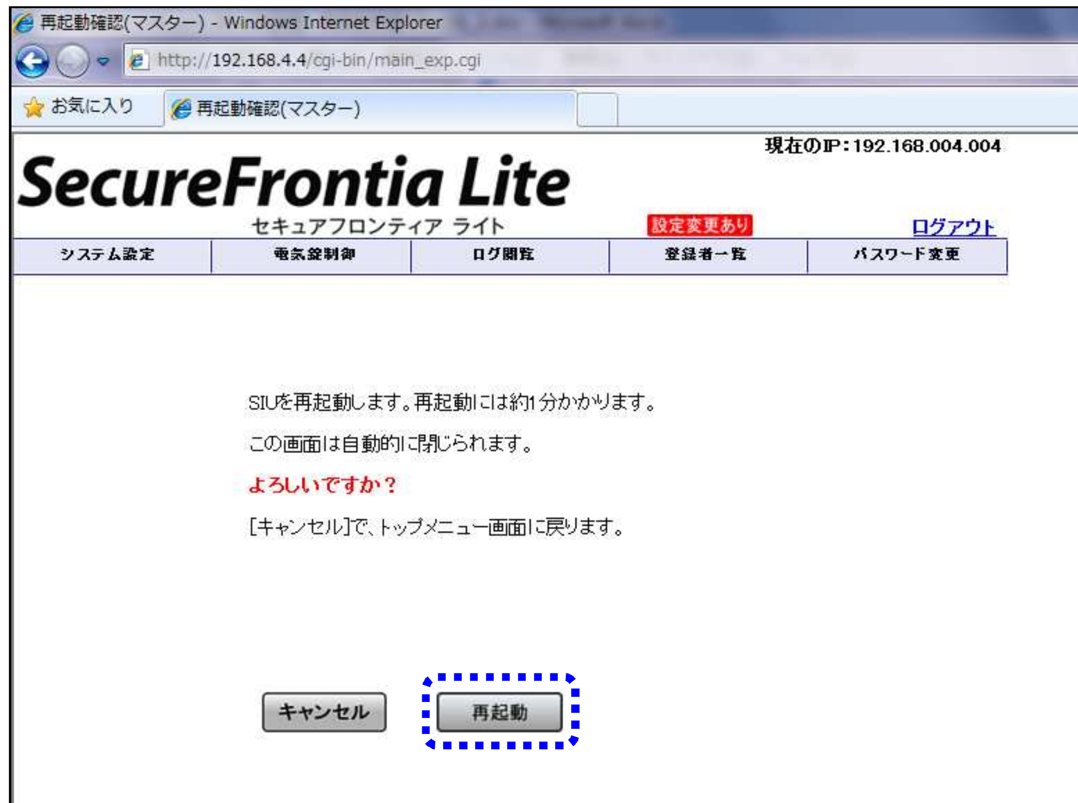
全体音量(音声)	3	
全体音量(ブザー)	3	
一回解錠時音声出力有無	○ 出力する	◉ 出力しない
扉開放異常時音声出力有無	◉ 出力する	○ 出力しない

●画面最下部の［設定］ボタンをクリックします。

● ［ＯＫ］ボタンをクリックします。



● ［再起動］ボタンをクリックすると、SIU 親機が再起動します。



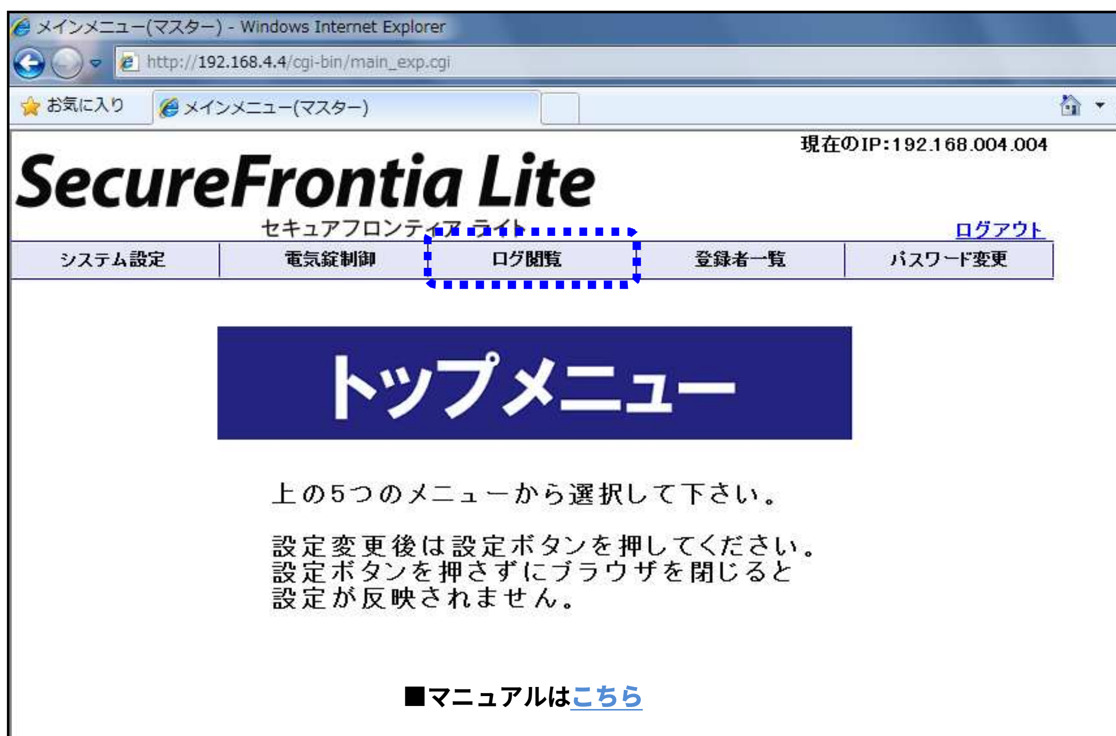
●ブラウザ画面が自動で終了し、SIU 親機が再起動されます。

⑧-2 IC カードの登録

テスト用 IC カード（お客様にてご用意）を登録者一覧に登録します。

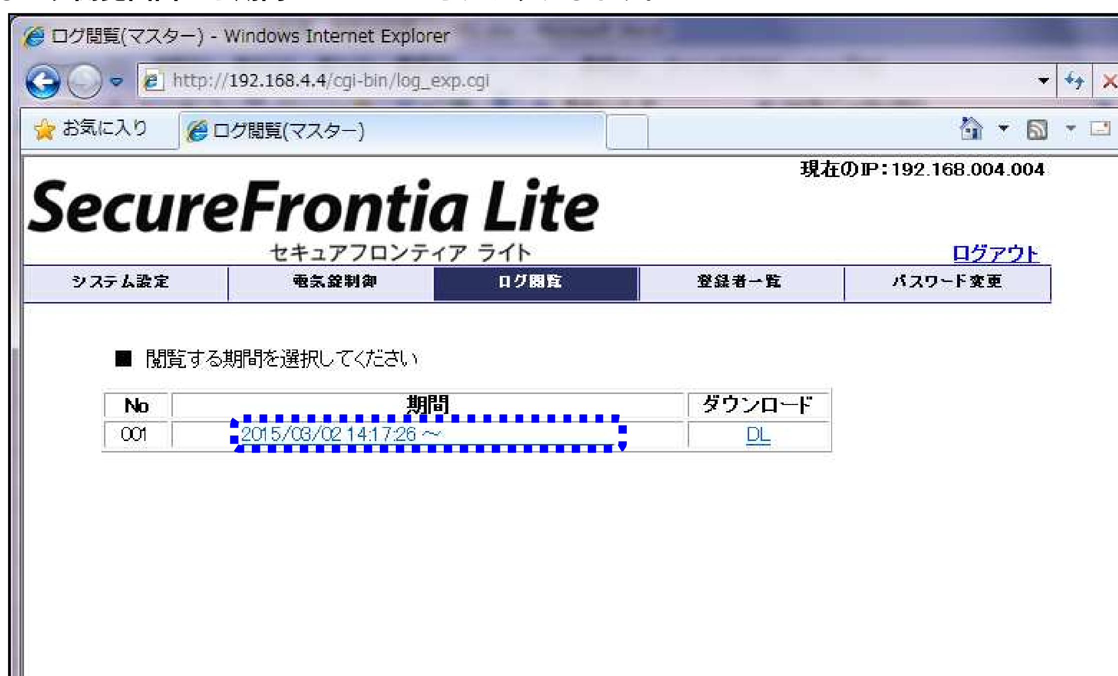
●設定用 PC からブラウザ（IE８以降)を開き、アドレス欄に
「http://192.168.4.4/」と入力し Enter 押下すると、トップメニュー画面が表示されます。
●ユーザ名に「admin」、パスワードに「necpf」と入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

●トップメニュー画面からメニュー一番左の［ログ閲覧］をクリックします。



●テスト用 IC カードを SIU 親機で読み取ります。
SIU 親機からは「マスターに登録されていません」と音声メッセージが流れます。

●ログ閲覧画面から期間の No.001 をクリックします。



●ログ閲覧画面から 1 行目の「カード ID」をクリックします。

ログ閲覧(マスター) - Windows Internet Explorer

http://192.168.4.4/cgi-bin/logdetail_exp.cgi

お気に入り　ログ閲覧(マスター)

現在のIP：192.168.004.004

SecureFrontia Lite

セキュアフロンティア ライト

ログアウト

システム設定 | 電気錠制御 | ログ閲覧 | 登録者一覧 | パスワード変更

先頭(新)　前　後　最後(古)

1 ページ

発生日付	内容①	内容②	カードID
20150302191526	退場登録者未登録エラー		011441 75D908BB0B
20150302141858	退場登録者未登録エラー		011441 75D908BB0B
20150302141839	電気錠	扉こじ開け異常	
20150302141835	電気錠	扉こじ開け異常	
20150302141822	電気錠	扉こじ開け異常	
20150302141756	電気錠	扉開放異常	
20150302141730	本体(親機)	子機接続異常	
20150302141726	モード変更	施錠モード	

●登録者一覧画面から個人 ID にカード所有者の名前を入力（英数半角 16 文字まで）し、［登録］ボタンをクリックします。

マスター覧(マスター) - Windows Internet Explorer

http://192.168.4.4/cgi-bin/cardmasterdetail_exp.cgi

お気に入り　マスター覧(マスター)

現在のIP：192.168.004.004

SecureFrontia Lite

セキュアフロンティア ライト

ログアウト

システム設定 | 電気錠制御 | ログ閲覧 | 登録者一覧 | パスワード変更

カードID　011441 75D908BB0B (英数半角16桁まで)

個人ID　Yamada Hanako (英数半角16桁まで)

カード状態　◉ 有効　○ 無効

警備権限　○ 有り　◉ 無し

有効期限　2015 年(西暦) 03 月 02 日 から

2999 年(西暦) 12 月 31 日 まで

登録　戻る

●登録者一覧に登録されると、画面下部に登録されたことが赤字で表示されます。

マスター覧(マスター) - Windows Internet Explorer

http://192.168.4.4/cgi-bin/cardmasterdetail_exp.cgi

お気に入り　マスター覧(マスター)

現在のIP：192.168.004.004

SecureFrontia Lite
セキュアフロンティア ライト

登録者変更あり　ログアウト

システム設定	電気錠制御	ログ閲覧	登録者一覧	パスワード変更

カードID	(英数半角16桁まで)
個人ID	(英数半角16桁まで)
カード状態	◉ 有効　○ 無効
警備権限	○ 有り　◉ 無し
有効期限	2015 年(西暦) 03 月 02 日 から 2999 年(西暦) 12 月 31 日 まで

カードID: 0114417 5D908BB0B を登録しました

登 録　戻る

●メニューの［登録者一覧］をクリックし、［登録者配信］ボタンをクリックします。

マスター覧(マスター) - Windows Internet Explorer

http://192.168.4.4/cgi-bin/cardmaster_exp.cgi

お気に入り　マスター覧(マスター)

現在のIP：192.168.004.004

SecureFrontia Lite
セキュアフロンティア ライト

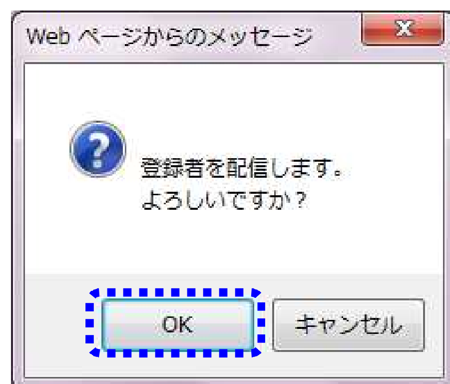
登録者変更あり　ログアウト

システム設定	電気錠制御	ログ閲覧	登録者一覧	パスワード変更

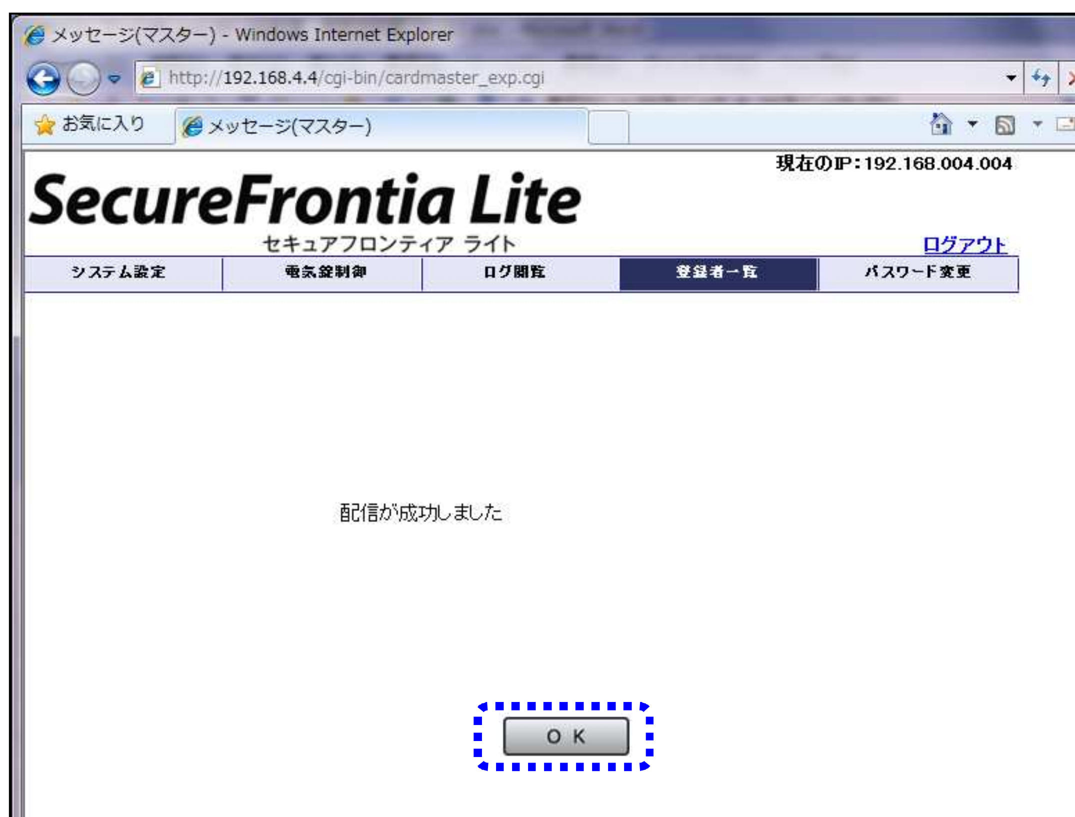
全選択　全解除　新規登録　登録者一括変更　削除　登録者配信

選択	カードID	個人ID	有効期限開始	有効期限終了	カード状態	警備権限
☐	01144175D908BB0B	Yamada Hanako	20150302	29991231	有効	×

●以下画面にて［ＯＫ］ボタンをクリックします。



●SIU 親機への登録者一覧が配信されると、以下画面となります。［OK］クリックします。



⑧-3 動作確認

テスト用 IC カードを SIU 親機に読み取らせ、電気錠が正常に施解錠動作するか確認してください。
SIU 子機の接続がある場合、SIU 親機と同様の確認を行ってください。

確認内容

✓ カードを読取部にかざすと、「ピッ」と音が鳴る
✓ 電気錠が解錠（解錠ランプ点灯）、扉を開閉させると、電気錠が施錠（解錠ランプ消灯）する。

・正常に動作する場合　→　⑧-4 に進んでください。

・正常に動作しない場合、電気錠種別での設定が違う、または、SIU 親機側電気錠ケーブルの結線が違う可能性があります。

設定を見直す場合　→　⑧-1（4）へ戻ってください。

電気錠接続を見直す場合　→設置編⑤、⑦にて電気錠の接続を確認してください。

⑧-4 ネットワーク設定

SIU 親機のネットワーク設定を現地お客様から指示されたものに変更します。

●⑧-1（4）の手順どおり、ログイン後、「システム設定」画面にて、以下ネットワーク設定を変更してください。

IPアドレス	192 . 168 . 4 . 4
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 4 . 1

⑧-1（4）の手順どおり、以下操作を行ってください。

●画面最下部の［設定］ボタンをクリックします。
●［O K］ボタンをクリックします。
●［再起動］ボタンをクリックすると、SIU 親機が再起動します。
●ブラウザ画面が自動で終了し、SIU 親機が再起動されます。

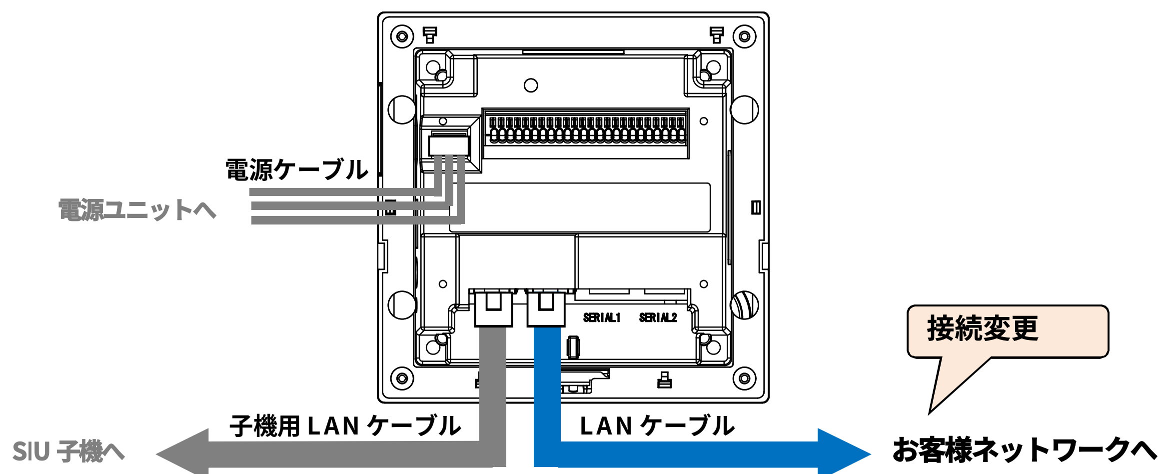
※SIU 親機が複数台ある場合は、⑧-1～⑧-3 の手順どおり、台数分設定を行ってください。

⑨ システムの動作確認

⑨-1　LAN スイッチへの接続

（1）設定用 LAN ケーブルを SIU 親機から取り外します。

（2）お客様ネットワークに接続する LAN ケーブルを SIU 親機（LAN H）に接続します。



（3）設定用 PC のネットワーク設定を元に戻します。（⑧-1（2）参照）

⑨-2　SIU 親機の取付け

仮固定を外し、④-1 と同様の方法で SIU 親機のフロントカバーを外します。
④-3 と同様の方法で SIU 親機を設置場所に取り付けます。
④-4 と同様の方法で SIU 親機にフロントカバーを元通り付けてください。

⑨-3　システム動作確認

（1）ネットワーク疎通確認
お客様 PC から設置された SIU に対して、ネットワーク疎通を ping コマンドで確認します。

スタートボタンから、最下段「プログラムとファイルの検索」内に「cmd」と入力し、Enter 押下すると、コマンドプロンプト画面となります。そこから、「ping （SIU 親機の IP)」と入力、Enter 押下し、ネットワーク疎通を確認してください。

・以下画面であれば正常と判断できます。→（2）へ進んでください。

```
C:¥Users¥SFX>ping （SIU 親機の IP）

 （SIU 親機の IP）に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
 （お客様 PC の IP）からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=64
 （お客様 PC の IP）からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
 （お客様 PC の IP）からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
 （お客様 PC の IP）からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64

 （SIU 親機の IP）の ping 統計:
     パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
     最小 = 0ms、最大 = 1ms、平均 = 0ms
```

・以下画面となる場合、IP 設定が間違えているか、またはケーブルが正しく接続されていない可能性があります。⑨-1 に戻り、見直しをお願いします。

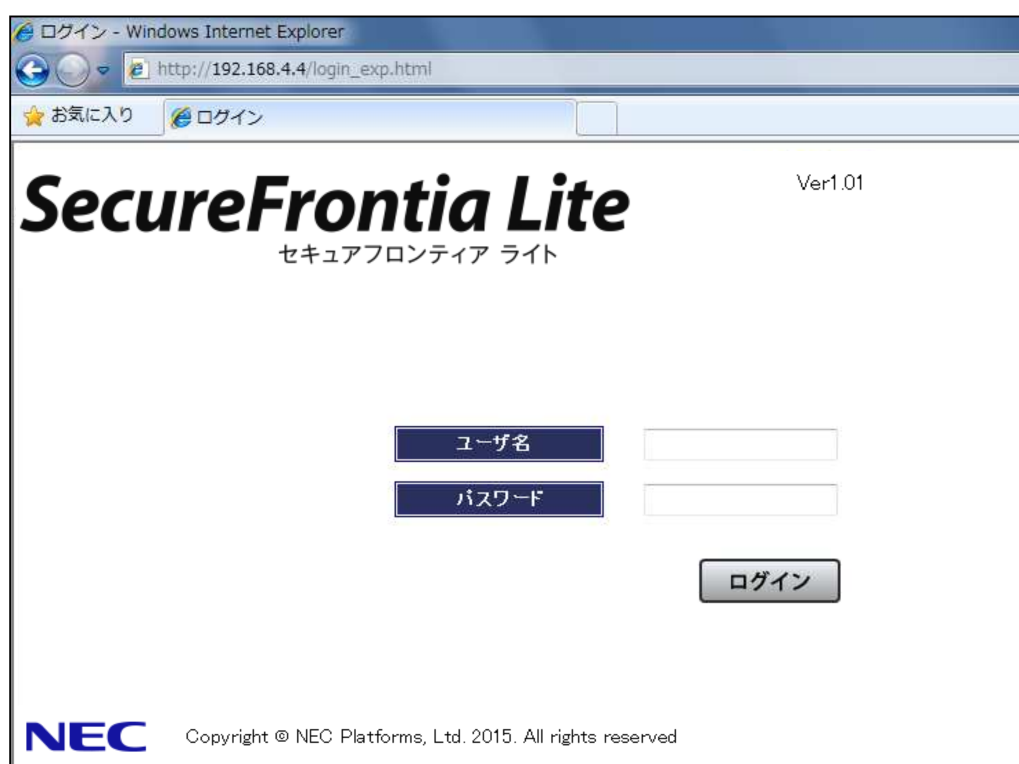
```
C:¥Users¥SFX>ping (SIU 親機の IP)

 (SIU 親機の IP) に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
 (お客様 PC の IP) からの応答: 宛先ホストに到達できません。
 (お客様 PC の IP) からの応答: 宛先ホストに到達できません。
 (お客様 PC の IP) からの応答: 宛先ホストに到達できません。
 (お客様 PC の IP) からの応答: 宛先ホストに到達できません。

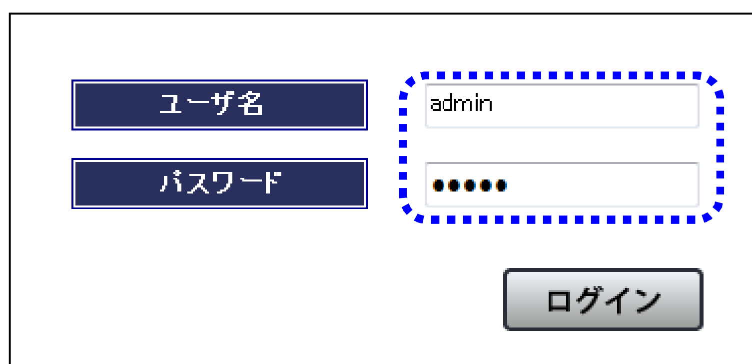
 (SIU 親機の IP) の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
```

（2）システム動作確認

●お客様 PC からブラウザ（IE８以降）を開き、アドレス欄に
「http://（SIU 親機の IP)/」と入力し Enter 押下すると、トップメニュー画面が表示されます。



●ユーザ名に「admin」、パスワードに「necpf」と入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。



●トップメニュー画面が表示されます。



入退室されるお客様全員のIC カード（FeliCa カードまたは MIFARE カード）の登録を行ってください。

操作詳細については、公式情報サイトのリファレンスガイドを参照してください。

□SecureFrontia Lite 公式情報サイト
http://www.necplatforms.co.jp/solution/secure/lite.html

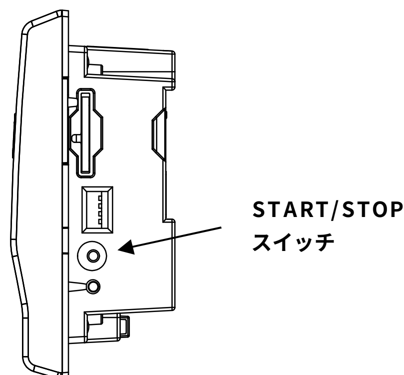
上記 URL にアクセス出来ない場合は、トップメニュー画面下段の 「■マニュアルはこちら」より参照ください。（こちらは SIU 出荷時のリファレンスガイドです。）

【参考】電源を切る（装置をシャットダウンする）

電源を切る場合は以下の手順で行ってください。

(1) ＳＴＡＲＴ／ＳＴＯＰスイッチを５秒以上押してください。

その後、以下の動作を確認してください。



音声ガイダンス「システムを終了します」



SD カードアクセス LED 点滅→消灯



上部カードリーダランプが
イルミネーション表示（赤点灯／青明暗）

ご注意

シャットダウンをせずに電源ユニットを OFF にすると、ログの一部消えるなど影響が発生します。また、装置、およびＳＤカードの故障の原因となります。

(2) 電源ユニットのＡＣ１００Ｖ線をコンセントから抜きます。(バッテリ出力に切り替わります)

(3) 細い棒で電源ユニットのリセットSWを押してください。(バッテリ出力を停止します)

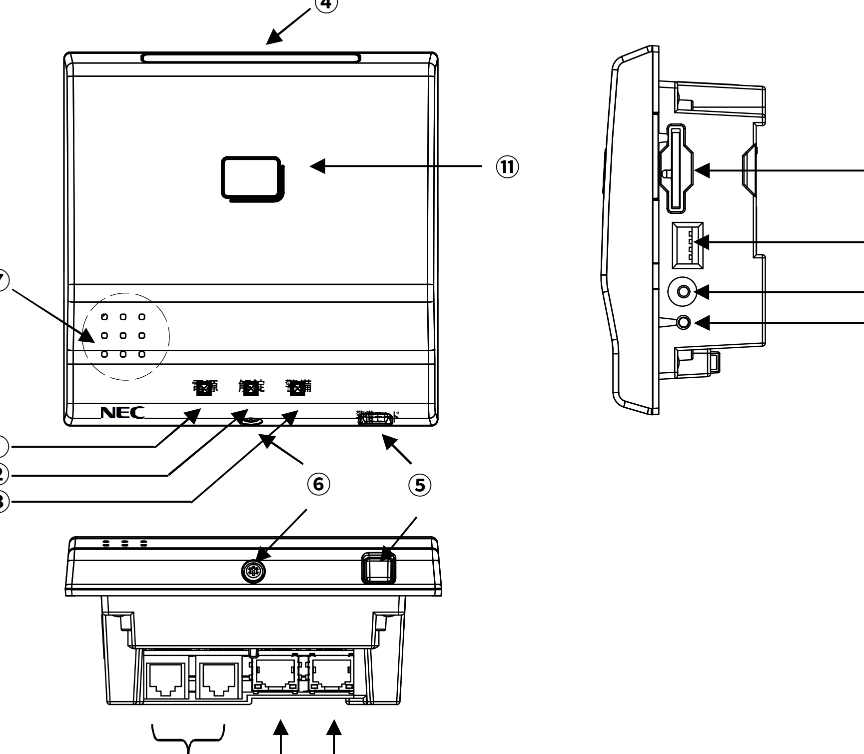
装置仕様

1. SIU（サテライト・インテリジェント・ユニット）

「SIU 親機および SIU 子機」は内蔵カードリーダからの入力情報を利用者の登録情報と比較して認証処理を行います。この認証処理の結果により、「SIU 親機」に接続された様々なタイプの電気錠の解錠および施錠を制御する装置です。

1-1. 各部の名称と働き

本体正面／側面／底面



① 電源ランプ
　装置が正常動作中は点灯（緑）します。

② 解錠ランプ
　接続された電気錠が解錠状態の時に点灯（緑）します。施錠状態の時は消灯します。

③ 警備ランプ
　警備開始時に点灯（橙）します。警備終了時は消灯します。

④ カードリーダランプ
　カードの読取が正常に行えた場合や、エラー時にイルミネーション表示（青／赤）を行います。

⑤ 警備ボタン
　警備モードを変更（開始または終了）する場合に押します。

⑥ 本体カバー止めネジ
　特殊ネジになっています。開け閉めには専用工具（DLR3-75T）を用いてください。

⑦ スピーカー

⑧ 拡張Ｉ／Ｏコネクタ
本製品では使用しません。

⑨ LAN H コネクタ
SIU 親機の場合、上位側へ接続する LAN ポートです。
SIU 子機の場合、SIU 親機へ接続する LAN ポートです。

⑩ LAN L コネクタ
SIU 親機の場合、SIU 子機へ接続する LAN ポートです。
SIU 子機では使用しません。

⑪ カード読取部
IC カードリーダの読取部です。浮き彫りのマークが読取位置の中心点となります。

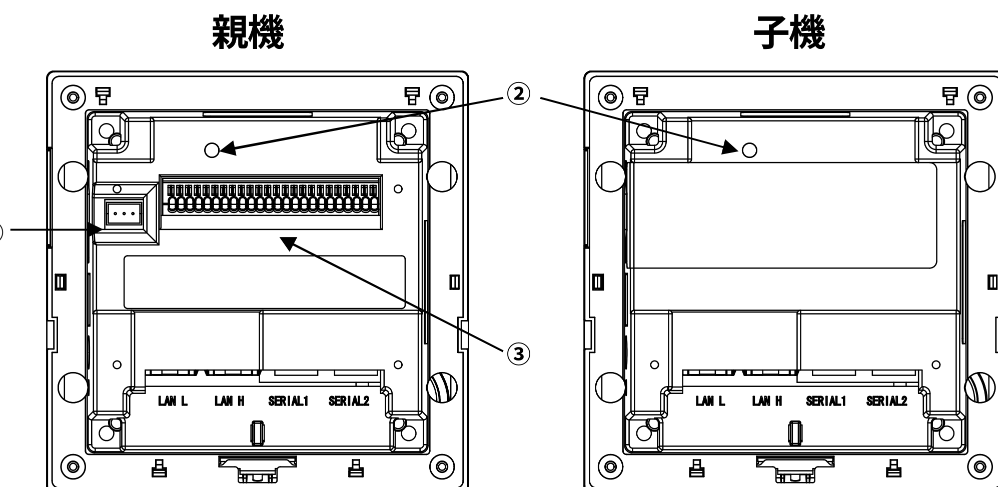
⑫ ＳＤカードスロット
故障の原因となりますので、SD カードの挿抜は行わないでください。

⑬ ＤＩＰスイッチ
出荷時状態のまま変更しないでください。

⑭ START/STOP スイッチ
起動後に押すとシステムがシャットダウンします（④が赤点滅になります）。
シャットダウンは電源 OFF の前に行ってください。
シャットダウン後に押すと再起動します。

⑮ リセットスイッチ
強制リセットを行う場合に押します。リセットするとログの一部が消える場合があります。

本体背面

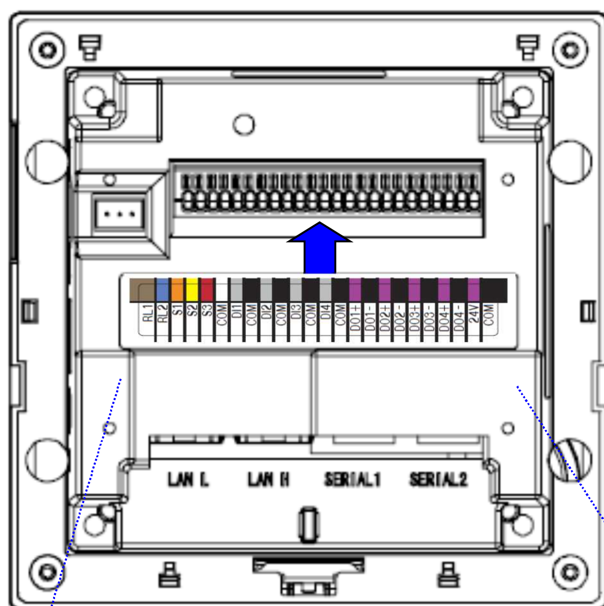


① 電源コネクタ

② 通電ランプ
本装置に電源が入力されている場合、点灯します。

③ 端子台
電気錠と接続する端子です。

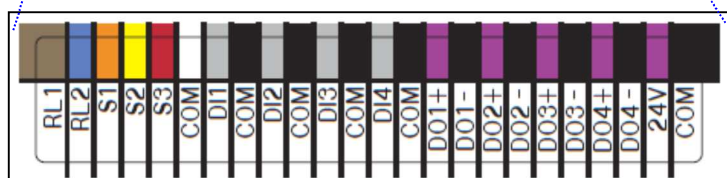
端子台



●線材は CPEV0.65-3P を用いてください。

●被覆は 8.5～9.5mm剥き、芯線部は全て配線孔に挿入してください。

●配線挿抜時は精密ドライバーを用いて配線孔に隣接する挿入解除ボタンを押します。



端子一覧表

端子名称 （色）	機能	端子名称 （色）	機能
RL1 （茶）	電気錠解錠出力	DO1＋ （紫）	認証 OK 出力
RL2 （青）	電気錠施錠出力	DO1－ （黒）	
S1 （橙）	電気錠扉開閉入力	DO2＋ （紫）	認証 NG 出力
S2 （黄）	電気錠解錠入力	DO2－ （黒）	
S3 （赤）	電気錠施錠入力	DO3＋ （紫）	警備信号出力
COM （白）	コモン	DO3－ （黒）	
DI1 （灰）	非常解錠入力	DO4＋ （紫）	扉開閉信号出力
COM （黒）	コモン	DO4－ （黒）	
DI2 （灰）	一回解錠入力 （※）	24V （紫）	24V出力
COM （黒）	コモン	COM （黒）	コモン
DI3 （灰）	警備信号入力		
COM （黒）	コモン		
DI4 （灰）	未使用		
COM （黒）	コモン		

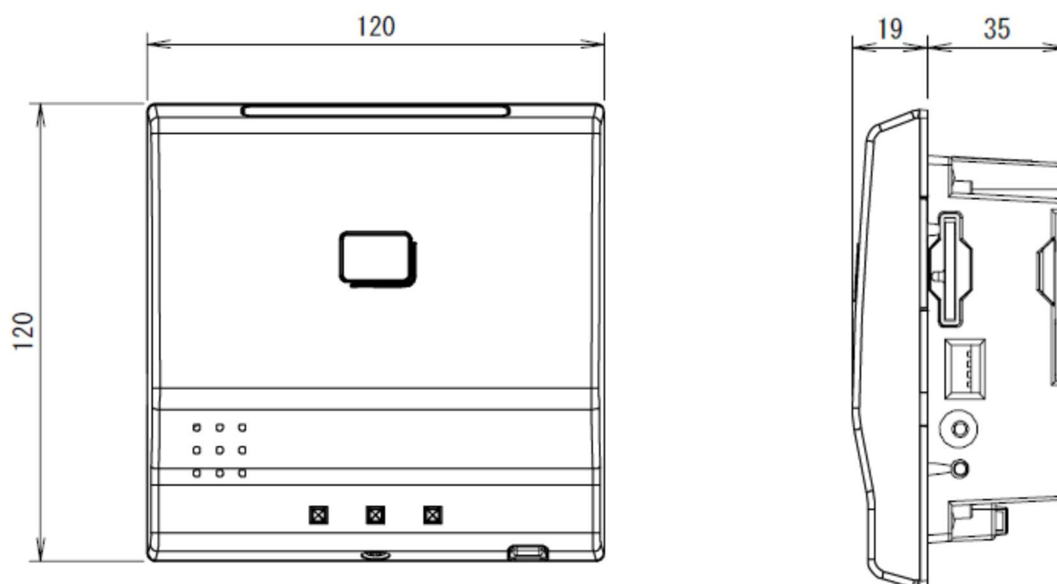
※.退室用押しボタン入力は DI2(一回解錠入力)-コモン間に接続してください。

1-2. 主な仕様

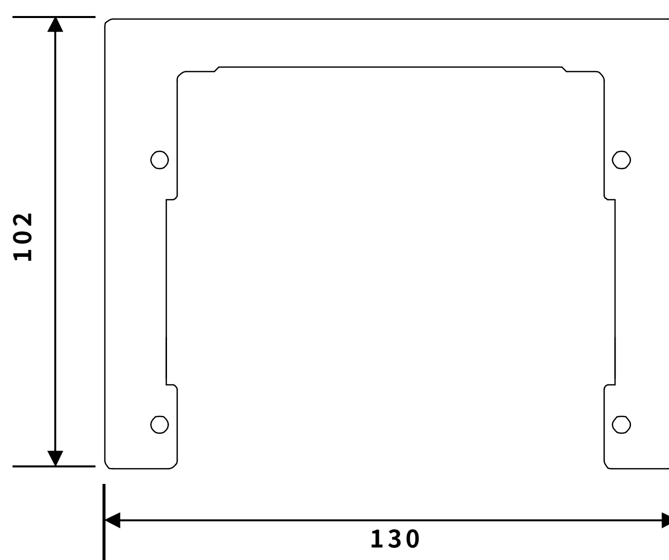
項目		仕様
対応カード		MIFARE、FeliCa
寸法		(W)１２０×(H)１２０×(D)５４　[mm]
質量		２８０[g]
環境条件	動作温度	－１０～５０℃
	保管温度	－１０～５０℃
	動作湿度	２０～８０%ＲＨ（但し結露なきこと）
	保管湿度	２０～８０%ＲＨ（但し結露なきこと）
電源	入力電圧	ＤＣ２４Ｖ±１０%
	バックアップ電池	リチウム一次電池
消費電力	最大（電気錠除く）	５Ｗ
規格	ＥＭＩ規格	ＶＣＣＩ クラスＡ適合
	電波法	誘導式読み書き通信設備（カードリーダユニット部） 総務省指定第 AC-08092 号

1-3. 寸法図

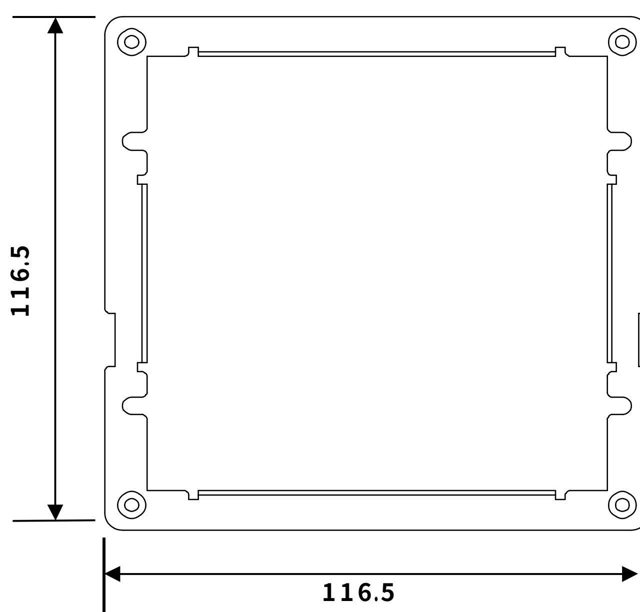
1-3-1. SIU 本体



1-3-2. 挟み込み板金

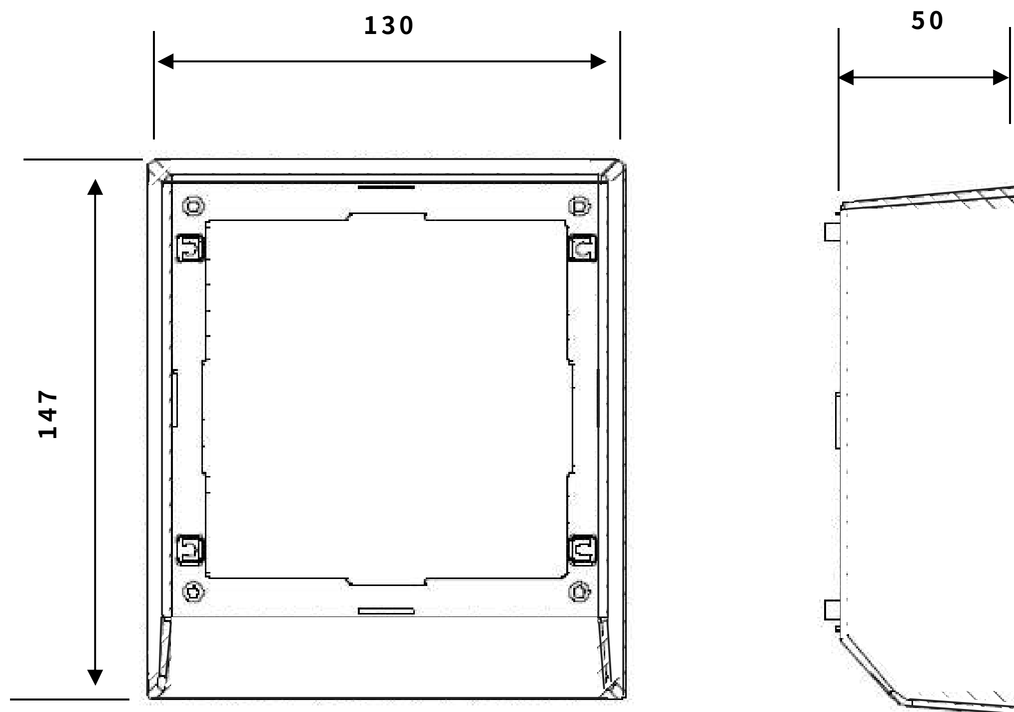


1-3-3. 取り付け板金

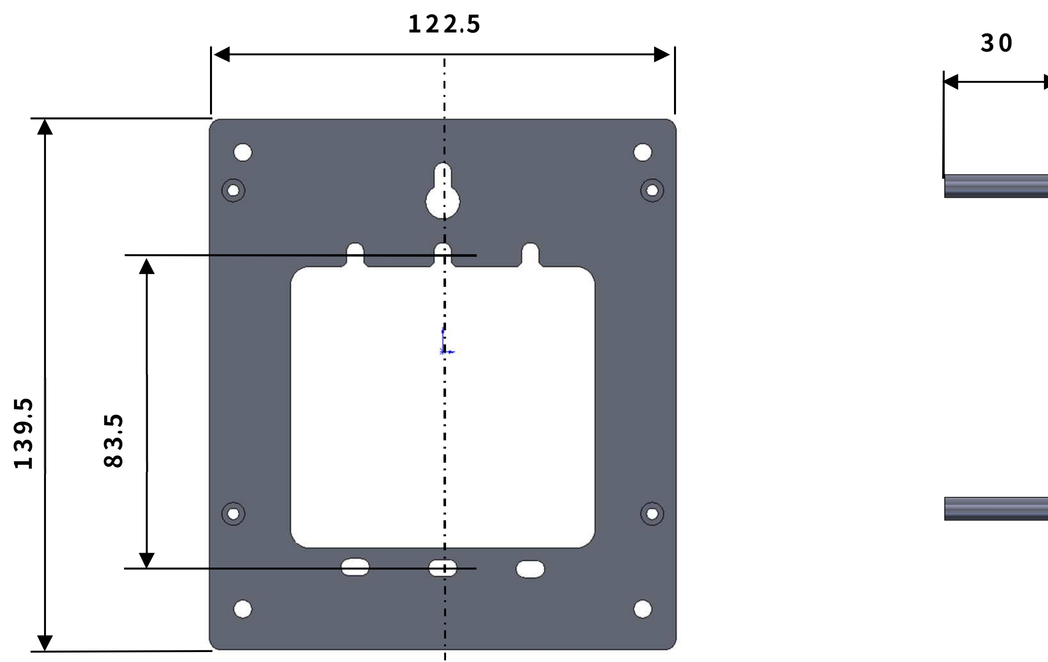


2．壁掛けキット

2-1. 壁掛けベース



2-2. 壁掛けプレート



単位(mm)

Secure Frontia Lite
設置／取扱説明書

ＮＥＣプラットフォームズ株式会社

ホームページ
http://www.necplatforms.co.jp/